

経営学部便り 2025

[第21号]

特集1 魅力あふれる4学科

特集2 学生生活に向けて

特集3 卒業後の将来に備えて

特集4 教員の紹介



近畿大学経営学部

巻頭言 既知を学び、未知を問う	経営学部長 安酸 建二	1
-----------------	-------------	---

特集1 魅力あふれる4学科

生きる術を学ぶ機会として経営学科での学びを活かそう	経営学科長 團 泰雄	2
公認会計士試験への挑戦	経営学科4年 北島 優作	3
祝・近畿大学創立100周年！ 一節目の年に商学科の門をくぐる皆さんへー	商学科長 高橋 愛典	4
商学科での学びと思い出	商学科4年 尾崎 梨音	5
会計学科ではなにが学べるのか	会計学科長 鳥 吉伸	6
公務員受験生に向けて	会計学科4年 三嶋 琉希	7
人をつくるひとを創る	キャリア・マネジメント学科長 文能 照之	8
はじめの一步としての挑戦	キャリア・マネジメント学科3年 荒木 萌夏	9

特集2 学生生活に向けて

学生案内フローチャート 困ったとき・相談したいときは、次の場所を訪ねましょう！		10
学生生活で悩む前に参考にしたい名言	経営学部学生委員会委員長 川原 尚子	12
経営学部自治会から経営学部の皆様へ	経営学部自治会委員長 曾根 凜太郎	13
授業時間		13
ACADEMIC THEATER	アカデミックシアター学生センター	14
中央図書館のオンラインサービス	中央図書館学生センター	15
ランゲージハブ	ランゲージハブ	16
英語村	グローバルエデュケーションセンター	17
近畿大学メディカルサポートセンターのご紹介	メディカルサポートセンター	18
KINCUBA Basecamp	KINCUBA Basecamp	19
起業学生の紹介	(株)BOG 楠田 佳紀、(株)Topas 細見 朋暉	20
	wakabar(株)杉山 誠一郎	21
生協ノーベンバー食堂は、年間を通じて充実した「食の提案」を行います	近畿大学生生活協同組合	22
次世代型新食堂—キャッシュレス、モバイルオーダー—	THE CHARGING PIT & DINER	22
本格的なコーヒーを大学内で楽しむ、優雅なひと時を	ALL DAY COFFEE	23
世界のニュースやメニューをリアルタイムに感じられるカフェ	CNN Café	23

特集3 卒業後の将来に備えて

「就社」から「就職」へ～皆さんに求められること	経営学部就職委員会委員長 花木 正孝	24
将来や就職活動について相談しよう	キャリアセンター	25
1回生からのキャリア探索	キャリア・マネジメント学科	26
自分の将来に向けしっかり準備しよう!!	キャリアサポート・オフィス キャリアサポーター 久米 雅明	27
卒業生の声	2017年卒 岡村 祥汰、2023年卒 石原 将真	28
	2023年卒 川崎 花梨、2024年卒 藤井 宥衣	29

特集4 教員の紹介

教員プロフィール 教員の顔、顔、顔		30
新任教員紹介 経営学部の新星	石川 雅啓、磯山 啓明	40
	玉井 由樹、牧野 耀	41
退任教員紹介		
あつという間に駆け抜けた近畿大学での19年間を振り返って	勝田 英紀	42
マーケティング・デザイン研究と教育	廣田 章光	43

自著紹介

『経営者報酬の理論と実証』井上 謙仁、『流通と消費者』大内 秀二郎・岡山 武史・玉置 了		44
『入門ガイダンス 品質管理のマネジメント』古殿 幸雄、『DMOと観光行政のための マーケティングとマネジメント』高橋 一夫		45
『1からの観光事業論』高橋 一夫、『セミコロン かくも控えめであまりにもやっかいな句読点』萩澤 大輝		46
『大学入試 無敵の難単語 PINNACLE 420』萩澤 大輝、『FINTECH時代の貿易代金決済電子化 失敗事例からの教訓と示唆』花木 正孝		47
授業の内容と方法の改善に向けて	経営学部FD委員長 高原 利栄子	48
建学の精神・教育の目的・近畿大学教育方針		裏表紙

既知を学び、未知を問う

経営学部長 安酸 建二

近畿大学経営学部は、1949年に商学部として創設されました。その後、商学部は商経学部へと発展し、2003年の改組で今日の経営学部となりました。改組当初は経営学科と商学科の2学科でスタートしましたが、2007年に会計学科、2009年にキャリア・マネジメント学科を新設し、学術研究および専門教育の深化と多様化を図ってまいりました。また、外国語教育とスポーツ教育の拡充を図るため教養・基礎教育部門を新たに設け、時代に即した学部教育へと改革を行ってまいりました。

近年では、海外留学と接続する英語による授業プログラム、交換留学生と経営学部生が共に学ぶために英語のみで行われる授業、公認会計士などの資格取得を目指す授業プログラム、インターンシップの充実、企業と共同で新製品開発を進めるゼミ活動、企業データの統計解析手法を教授するオンライン授業などを導入し、常に最先端の研究・教育環境の整備を行っています。また、日本国外の大学の経営学部と学部間協定を締結し、交換留学をはじめとする国際交流ネットワークの拡張も進めています。経営学部は近畿大学で最も歴史ある学部の一つであると同時に、企業経営の在り方や学問の発展に伴って変革を遂げてきたという意味で常に新しい学部であると自負しています。

経営学部で扱う経営学とは、企業をはじめとする組織の経営を対象とする学問です。「学問」とは、文字通り「学ぶ」こと、そして「問う」ことを意味します。企業経営について「学ぶ」べき内容は既知の事柄です。企業が有する経営資源を効果的に配分・活用して企業を発展させたり、効率性を高めたりするための理論と方法

を学生は学びます。こうした理論と方法は完ぺきではありませんが、すでに確立されているという意味で既知です。

一方、学生が「問う」べき内容は未知の事柄です。「問う」とは、企業が直面している諸問題について「なぜ」という疑問を持ちその根本的原因を探ると同時に、問題の解決に向けて知恵を絞ることを指します。今日の企業が直面している問題は、経営資源の配分や経済的な効率性の追求だけではありません。社会的課題の解決、気候変動への対策、人権への配慮など、かつては経営学の対象外であった問題に今日の企業は直面しています。社会的課題、気候変動、人権が企業経営で問題になるのはなぜでしょうか。それは何を意味しているのでしょうか。経営学は実学であると言われますが、我々近畿大学が考える「実学」とは、未知の事柄の意味を学び取ることも含みます。「なぜ」と問うことは実学そのものです。

経営学部には「ビジネスの中核を担う企画力と実行力を持つ有為な人材を育成する」という理念があります。この理念の実現を目指す様々な授業やプログラムでは、経営学の専門知識を深く学び、そして企業が直面する諸問題の原因を真剣に問うことが学生に求められます。経営学部でのこうした学びと問いを通じて、学生が専門知識と能力を身につけ卒業後に社会で活躍するための基盤を形成すること、そして、個としての人格を高めることを経営学部では目指しています。



1 魅力あふれる4学科

【学科紹介】 経営学科

生きる術を学ぶ機会として経営学科での学びを活かそう

経営学科長 團 泰雄

経営学科は、企業マネジメントの理論と実践を学び、経営の実務感覚を身につけることを目的としています。そのために、経営学科のカリキュラムは、基礎から応用へと段階的に学修できるように編成されています。

1年次は、経営の専門分野を学ぶ前に、その背景となる市場経済や社会の動き、その中の人の考え方や自分の考えを伝えるための技法、そして語学などを学び、2年次から、以下で紹介する3つのコースのいずれかに所属し、専門的な能力を身につけていきます。3年次からはゼミナールに所属し、自ら選んだ研究テーマに取り組み、卒業論文へと仕上げていきます。

経営学科では、現在そして将来の企業社会において求められる知識を獲得し、能力を養うために3つの専門領域に対応するコースを提供しています。

企業経営コースでは、実際の企業を題材として、企業経営に焦点を当てた、企業をマネジメントするための理論と実践力を身につけ、実社会で活躍できる企業経営者・管理者の資質を養います。

ITビジネスコースでは、ITマーケティングやコンテンツビジネスの理論に加え、プロジェクトなどの企画・運営の実践によって生きた経営感覚を磨き、情報化社会のITビジネス企画力を身につけます。また、情報技術を基盤としたシステムの企画・運営を実践的に学びます。

スポーツマネジメントコースでは、在学中の競技力向上に寄与するアスリート育成のための学習を通して、卒業後のあらゆるスポーツシーンで活躍するリーダーとして必要な知識と実践力を養います。

ここまで経営学科での学びの内容について紹介してきましたが、むしろ重要なのはその学びをどのように活かそうと考え、行動に移すかです。では、経営学科での学びが自らの将来に

どのように結びついているのかを以下で考えてみましょう。企業は私たちの生活を便利にする存在であり、また私たちが生活していくためのお金を得るための場でもあります。実生活の中で私たちは特に意識することはなくても企業の存在を必要不可欠なものとして捉えていると言えるでしょう。

市場経済を前提とすれば、企業は競争で生き残っていくためにその外部で起きていることに対応していかなければなりません。これまでも、ITのような新しい技術が生まれたことで、売れる商品、製造技術、働き方、資金の使い方が大きく変わっていきました、これらの変化にうまく対応できない企業は利益をあげていくことが難しくなっていました。

うまく対応するために必要とされるのが、マネジメント、より具体的には経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）をうまく配分し、動かしていくことです。例えば、どの仕事をどの人にやらせようのが一番良い結果を生み出しそうかといったことを考えながら企業は従業員を配置していきます。マネジメントという発想は、決して遠い存在ではなく、皆さんの生活の中にも必要とされているものです。人に物事を頼む、家計をやりくりする、受け取った情報を解釈し、自らも発信する、そして自分が行っている活動のパフォーマンスを高めるためにいろいろな面で工夫する、これらはすべて個人としてもすでに行っていることだと思います。

このように企業との関わりを持ちながら私たちが生きていくことに密接に関連している知恵は経営学科で学ぶ機会の中に豊富に蓄積されてきています。そこから何をどれだけ学べるのか、どれだけそれらを役立てることができるのかは、あなた次第です。いろいろなことを知り、考えることの楽しさをぜひ味わってみてください。

公認会計士試験への挑戦

Student Voice

経営学科 4年 北島 優作

私は中村ゼミに所属しており、2024年の8月に実施の公認会計士試験に合格した者です。ゼミ活動では、幼稚園児向けに1から製品を作ったり、外部の企業の方との合同演習などもしたりと、充実していました。発表の機会も多くあり、貴重な経験ができました。会計士試験は、2022年5月から試験勉強を始めたので、2年弱の長い挑戦でした。ここでは勉強方法というよりは、合格するまでの話と、挑戦した上で感じた大事なことを中心にお伝えしたいと思います。

そもそも私が会計士を志したきっかけは、思いもよらないことからでした。3年生に上がった時、最初は大学の学校推薦を利用してりそな銀行に行こうと考えていました。しかし、GPAが低かったので、資格を取らないと土俵に立てないと考え、日商簿記1級の勉強を始めました。勉強を進めていく中で分からないところがあったのでネットで調べていると、同じ簿記を使う資格である会計士をたまたま見つけました。そして、どんな仕事なのだろうと詳しく調べていくうちにその魅力に触れ、会計士になりたいという今までに感じたことの無い強い気持ちが芽生えたことがきっかけでした。当時はエネルギーが有り余っていたので、命を燃やして何かに取り組みたいという気持ちがあったのも大きなきっかけでした。

会計士になる決意をして予備校に申し込み、合格までの2年弱の長い道のりが始まりました。会計士試験は短答式と論文式の2段階になっていますが、2年弱の中でも特に苦しかった時は、短答式試験に1度落ちた時です。勉強を始めて7ヶ月が経った時に短答式試験を初めて受け、終わってから自己採点をした結果、合格予想ボーダーを大きく下回りました。その時、会計士試験は自分が挑戦していいレベルのものではないんじゃないかという不安や、これまでの時間はなんだったのだろうという虚無感、そして自分は一生受からないんじゃないかという恐怖に襲われ、自

然と悔し涙が溢れていました。その時は諦めようかという気持ちもありましたが、まだ改善の余地はあったので、もう一度頑張ろうと決意しました。それからは、各科目で得意な論点と苦手な論点を書き出して整理し、苦手な論点をすべて潰して無事に合格し、論文式試験にも合格することが出来ました。合格番号をみた瞬間に、これまで時間をかけてきたことや、しんどかった日々が全て報われた安堵感と、頑張ってた良かったという気持ちが溢れて号泣してしまいました。常に応援し、勉強に集中できる環境を作ってくれた両親に、合格の報告ができたのが何より嬉しかったです。

最後に私がこの挑戦を通して伝えたいことが2つあります。まず1つ目に、何か挑戦をするときは、言い訳のできない環境を作ることが重要であるということです。仮に失敗したときに「もし〇〇だったらできた」などの言い訳ができてしまうと、一生後悔が残りますし、次の道に前向きに進めなくなるからです。2つ目に、自分で自分の限界を決めないでほしいということです。私自身はまさか勉強でここまで頑張れると思っていませんでした。これは、私が自分の限界を決めつけず、こんなもんじゃないんだと自分の可能性を信じたからです。若い近大生の皆さんは無限の可能性を秘めているので、周りの人が反対するようなことでも、自分のやりたいことがあるならば、諦めずに自分を信じて挑戦していただきたいです。

私は今年から監査法人に就職し、英語を使う業務に挑戦します。不安はありますが、これからも自分で限界を決めず、自分の可能性を信じて人生を歩んでいきます。新しく1歩を踏み出し、挑戦する近大生を遠くから応援しています。



魅力あふれる4学科

【学科紹介】商学科

祝・近畿大学創立 100 周年！

—節目の年に商学科の門をくぐる皆さんへ—

商学科長 高橋 愛典

近畿大学は今年、創立100周年を迎えます。大正末期の1925年に創設されたときは「日本大学専門学校」で、日大の大阪分校でした（本学が「関西の日大」と呼ばれるのは、ゆえなきことではありません）。当時（旧制）の専門学校は、今のような美容師や調理師のイメージとは大きく異なります（早稲田大学が1882年に創設された当初は「東京専門学校」でした）。その後昭和の戦前・戦中にかけて「日本大学大阪専門学校」「大阪専門学校」と改称されますが、いずれにしても創設当初から「商科」が置かれ商学が講じられたので、われらが商学科も今年で100周年です。

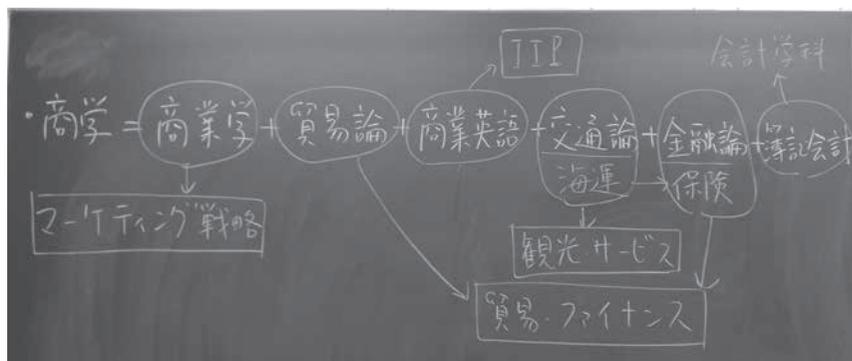
戦時中にできた「大阪理工科大学」と統合され、戦後の新制大学として近畿大学が発足するのは1949年、そのとき最初にできたのが商学部と理工学部だったことは覚えておいてください（翌年にできた法学部は、商学部の商法専攻を母体としています）。1953年に経済学科（現在の経済学部）が併設され、商学部は商経学部になりました。商経学部には1963年に経営学科が併設され、商経の「経」の字が経済学科と経営学科の両方を意味しました。

商経学部は50年続きましたが、2003年に現在の学部構成、つまり経営学部と経済学部に分離・改組されました。商経学部最後の卒業生も、

もう40代です。その翌年、EキャンパスにB館ができ、経済学部が21号館から移転していつからか、20年以上が経ちます。

こうして、本学における商（学）科の歴史は、本学それ自体と同じく100年あります（ちなみに、わが国における商学そのものの歴史はもうちょっと長くて、20世紀初頭＝明治30年代からの120年ほどです。詳しくは「商学A」の私のクラスでお伝えします）。他大学ではマーケティング学科になっているところもありますね。受験生が大学で学べる学問を調べたときに、マーケティングには確かに心ときめくものがあるでしょう。しかし、商学（科）はマーケティングを柱としつつも、それだけではありません。100年もの長い年月の中で、商学科ではマーケティング関係のみならずカタカナの科目が増え（例えばサービス、ファイナンス、ロジスティクス、デジタル）、中身はどんどん新しくなっています。授業内容についても、教員は日々、研鑽に励んでいます。商学科で学ぶことを楽しみにしてください。

近大も商学科も、100年の間に多数の卒業生を世に送り出してきました。就職活動でも就職後でも、頼りになる先輩があちこちにいることも大きな魅力です。人脈を活用してください。



商学科での学びと思い出

Student Voice

商学科 4年 尾崎 梨音

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる学生生活が実り多いものになるよう、私自身のゼミでの経験を少しご紹介します。経営学部ゼミは、2年生の秋頃から選考が始まり、3年生から本格的に活動がスタートします。私は広告論を専門とする峯尾ゼミでゼミ長を務め、広告を実務と学術の両面から深く学ぶ貴重な時間を過ごしました。

実務面を学ぶ活動として、企業の課題解決に取り組む学内ビジコンや製菓メーカーに対する商品プロモーションの提案に取り組み、学術面を学ぶ活動では日本広告学会主催の広告やマーケティングに関する論文コンペや、MRGPと呼ばれる大学対抗で開催されるプレゼン大会に挑戦しました。

実務面を学ぶ活動の一例として、KINDAIビジコンで株式会社明治関西支社が出題した「-健康にアイデアを- 未来を担う若年層に向けたチョコレートと健康をつなぐ戦略立案」というテーマでプロモーション戦略を提案しました。若年層がどのような商品に興味を持つかを徹底的に分析し、実現可能性を考慮した具体的なアイデアを提案した結果、優秀チームの一つに選ばれました。案が採用さ

れ、社員の方々との商談や店頭プロモーションの実現にも参加し、大変貴重な体験を得ました。

一方、学術面を学ぶ活動として挑戦した学生広告論文賞では、越境EC市場の拡大を背景に、『『安すぎる』価格がZ世代消費者に与える影響』をテーマに研究を行いました。特に衣類商品の購買行動に焦点を当て、先行研究から仮説を立て、統計解析ツールを用いたデータ分析を実施しました。初めての本格的な研究で苦労も多くありましたが、終了後の達成感は非常に大きく、私のチームは佳作を受賞し、ゼミで参加した全チームが入賞するという快挙を達成することができました。この活動を通じて得られた知識や経験は、自分にとって大きな財産となっています。

様々な活動を通し、大変なことも嬉しく楽しいことも含め多くの時間を共にした同じゼミのメンバーには、感謝の気持ちでいっぱいです。また、実務的な活動だけでなく、学生の本業である学術の面でもチームで一生懸命取り組む活動に参加できたことで、大学生らしい学びや成長、そして、良い経験や思い出があったと感じています。



会計学科ではなにが学べるのか

会計学科長 島 吉伸

なぜ会計学を学ぶのか

会計は、組織の活動やそれが生み出す成果を貨幣価値で描写する道具です。例えば、企業経営では、販売活動の結果として売上がいくらか、製品の製造にいくらかかったのか、企業活動の成果としてどのくらい儲けがあったのかを示すために会計が利用されます。企業の経営者や管理者は、会計の手続きから得られる会計情報を利用して、経営計画を立てたり、新製品開発プロジェクトを進めたり、設備投資や企業買収を決定したりします。また、会計の手続きを経て、企業の経営成績を示す損益計算書や財政状態を表す貸借対照表といった財務諸表が作成されます。投資家は、公表された財務諸表を参考にして、投資する企業を決定します。

このように、会計は、経済活動にかかわる様々な人たちに利用されています。したがって、会計が理解できないと、上手くビジネスを進めることができません。会計はビジネスにおける共通言語であり、ビジネスパーソンが習得しておくべき必須のスキルであるといえます。会計学科では、皆さんに高度な会計スキルを身につけてもらい、それを武器として、実務で活躍する人材を輩出したいと考えています。

会計学科の特色

経営学系学部には会計学科を設置している大学は日本にあまりありません。近畿大学経営学部会計学科には、会計学領域の専門知識を有する教員が揃っており、会計学の学びに必要な講義科目が網羅されています。まず、1年次には、「簿記論」や「会計学基礎論」といった基礎科目があり、2年次には「財務会計」や「原価計算」、「監査基準論」といった基幹科目が設置されています。3年次以降はさらに専門的内容を扱う、「意思決定会計」や「税務会計」、「企業分析」といった基幹科目が設置されています。これらの科目を履修すること

によって、会計学を体系的に学ぶことができます。さらに、経営学部の他学科開講科目である、「経営管理論」や「マーケティング戦略論」、「ファイナンス論」を履修でき、会計の視点から企業経営を考察する能力を養うことができます。

IAP：インテンシブ・アカウンティング・プログラム

もう1つ大きな特色として、会計学科では、将来、公認会計士や税理士といった専門職や、高度な会計スキルを武器に社会で活躍することを目指す学生を支援するために、IAP（インテンシブ・アカウンティング・プログラム）を設置しています。会計専門職を目指すなら、できるだけ早い時期に試験準備を開始することが効果的です。IAPはそのような志の高い学生をサポートするプログラムです。同じ夢を持つ学生が集まり、互いに刺激し助け合いながら、切磋琢磨できる環境を作りたいという思いから設置しています。

IAPでは、1年次から、集中的に簿記・会計学を少人数クラスで学びます。1年次に日商簿記検定（日商）3・2級レベルを、2年次からは日商1級レベルの内容に取り組みます。また、多くの学生が日商簿記検定試験に合格できるよう、各試験日の前に集中講義形式の試験対策演習を準備しています。さらに、3年次からは資格取得を目標とする演習（ゼミ）を開講しています。IAPの科目は通常のカリキュラムに組み込まれているので、資格取得のための勉強が単位取得につながり、学生の負担は軽減されています。

IAPの目的は、そこでの勉強を土台にして、公認会計士や税理士、その他の資格試験にチャレンジしてもらうことです。IAPで学んだ先輩方から、公認会計士や税理士合格の声が次々と届いています。皆さんにも、IAPを活用していただき、大きな夢の実現に向けて頑張ってくれることを願います。

公務員受験生に向けて

Student Voice

会計学科 4年 三嶋 琉希

私は中学生の頃から公務員や金融機関に就職したいという目標がありました。この目標を実現するために、会計知識を得る必要があると考え、近畿大学経営学部会計学科に進学しました。

その後、中国地方の小さな町から上京したものの、コロナウイルスの影響により、1年次では多くの授業がオンラインで開講されました。私は慣れない一人暮らしによってストレスが溜まっていたため、登校しなくても授業を受講できる環境に甘えて実家に帰省し、単位を機械的に取得するだけの自堕落な生活を送っていました。翌年から対面授業に移行する際、「今までの生活と同じような生活では公務員どころか就職すら難しいのではないか」と思い、簿記資格に挑戦することにしました。

そのため、IAPという会計学科独自のカリキュラムを受講しました。IAPクラスは、公認会計士や税理士を目指す30人程度の学生で構成され、日商簿記1級の勉強をします。これまで、簿記の勉強を本気でしていなかったため授業内容を理解できるのか不安でしたが、授業が分かりやすく、毎週小テストが行われるので知識の定着を図ることができます。また、同じ目標をもったクラスメイトと切磋琢磨できる環境が備わっています。

このような優れた環境で勉強を進めていたとき、国税専門官という税金のスペシャリストとして活躍できる公務員があることを知りました。そして、国税専門官が公平な税金の賦課徴収を目指している点を魅力に感じ、第一志望に位置づけました。公務員試験は簿

記試験と異なり、10科目以上の幅広い知識と面接対策が必須です。私は試験別の特徴を念頭に置き勉強を両立していきました。その結果、簿記1級は不合格となったものの、国税専門官、県庁および地方銀行から内定を頂きました。特に、国税専門官試験に合格したときは、これまでにない達成感がありました。

私個人の経験ですが、公務員試験や高難易度資格に挑む学生は1人で勉強を行わず、同じ目標を掲げる人や大学職員からサポートをもらいながら勉強することが大切だと考えます。これらの学生は、周囲の学生が早期に就職活動を終えていくなかで、勉強をしなければなりません。ときには、周囲の学生のことを羨ましく思い、不安に駆られ妥協したくなる気持ちになるかもしれません。私もこのような気持ちになりました。

でも心配いりません。近畿大学は同じ目標を目指す学生が多く、キャリアセンターや経営学部棟5階キャリアサポート・オフィスの講師陣にいつでも相談できる環境が備わっているため、集中して勉強に取り組みます。自分自身の合格はこのようなサポートがあってこそその結果だと思います。最後に、近畿大学は就職支援に限らず、多種多様なゼミや授業、課外活動が充実しており、新たな友人や趣味と出会えます。新入生におかれましては、健康に留意され充実した学生生活を過ごせるよう祈っております。



人をつくるひとを創る

キャリア・マネジメント学科長 文能 照之

「ものをつくる前に人をつくる。」この言葉は、かつて日本の経営の代表格と言われた松下電器産業（現、パナソニック）の創業者である故松下幸之助氏が残した言葉だとされています。メーカーにとって売り物である商品が大切であることは言を待ちませんが、それをつくるためには、その担い手たる人をまず、育てなければなりません。そんな思いがこの言葉には込められています。「城は人」という武田信玄の言葉にもあるように、人は経営において最重要の資源と言っても過言ではありません。キャリア・マネジメント学科はその「人」について考え、学ぶ学科なのです。

近年、キャリアという概念が広がりを持ち始めています。以前は、「職歴」という程度の意味しか持たなかった言葉ですが、今では、「人生」そのものをも包含する概念へと変化してきています。従ってキャリア・マネジメント学科では、様々な経営組織に関与する個人自らのキャリア（人生）について、理解することが必要となります。まずは自分自身をよく知り、働くことの意味や自らの人生における目標について考えなくてはならないのです。そのために学科では、キャリア・マネジメント入門やキャリア・マネジメント論といった科目が設置されています。また、座学だけでなく、実際の体験を通じて学ぶことのできる科目も用意されています。それが、キャリア実践関連の科目群です。建学の精神でもある「実学教育」を具現化したキャリア教育実践Ⅰ・Ⅱでは、ビジネスの現場に直接触れることで、自らの自律的なキャリアについて深く考える契機が得られます。

また、キャリア・マネジメントという言葉には、個人自らのキャリアをマネジメントすることと同時に、他者のキャリアをマネジメントするという意味も含まれています。先ほどの、松下幸之助氏の言葉にもあるように、人材育成は経営の根幹です。しかし、その人材である他者についてよく理解していなければ、育成もマネジメントもできないのです。そのため人間理解が必要だと言えます。学科では、人の気持ちがわかるビジネス・リーダーやキャリア形成支援の専門家を育成し、社会に送り出すことを最終教育目標としています。従って、学科の学生には、「人」に興味を持ち、親身に話を聞こうとする意欲を有し、相手の立場に立つことができるようになってほしいと思っています。そのために、コミュニケーション関連の科目や心理学を基礎とした科目群、そして人材マネジメントなどの科目が設置されているのです。

さらにこうした他者理解を前提として、学科では人という経営資源のもつ無限の可能性を深く理解し、引き出し、新たな社会・経済・組織を創造し、支える人材をも輩出したいと考えています。これこそが、他者のキャリアをマネジメントすることへと結びついていくのだといえます。そのために、モチベーション論やキャリア・マネジメント論、雇用政策論といった科目が用意されているのです。こうした意味において、私たちの学科は「人をつくるひとを創る」学科だと言ってもよいでしょう。皆さん自身が次代を担うべく成長し、さらには、その次の時代を担うひとづくりに貢献してくれることを期待しています。

はじめの一步としての挑戦

Student Voice

キャリア・マネジメント学科 3年 荒木 萌夏

私が大学生活で大切にしていることは「挑戦」です。「挑戦」は大きな不安を伴うもので、自分にとって決して容易なことではありませんが、その一步を踏み出すことで、私は高校時代までと違う景色を見ることが出来ていると感じています。その「挑戦」とは経営学部自治会への参加です。

1回生の春、私は経営学部自治会主催の新生交流会に参加しました。この交流会では、チームでのミニゲームやクイズ対抗戦など、楽しさが溢れる企画が盛りだくさんでした。最後に経営学部自治会についての説明があり、様々なイベントを行うこと、大学祭の運営が出来ることに魅力を感じ、勇気を出して入部したことが私の大学での「挑戦」の第一歩となりました。経営学部自治会では、経営学部生に価値を還元することを目標に、さまざまなイベントの企画・運営を行っています。その中でも特に印象に残っているのは、次の三つのイベントです。一つ目は、「レシポート」です。近畿大学の学生から家庭レシピを募集し、7号館食堂「THE CHARGING PIT & DINER」で期間限定販売を行いました。このプロジェクトでは、テーマを決め、テーマに沿ったレシピを集めることが必要であったため、広報活動に力を入れました。1週間でピラを500枚配布、ポスター掲示、卓上アクリルスタンドとSNSも使用した結果、25件の応募が集まり十分な選考をすることができました。

二つ目は、「スポーツ大会」です。経営学部生を対象に、バスケットボールやドッジボール大会を企画しました。グループごとの競争を楽しんでもらうだけでなく、優勝チームには豪華景品を贈呈することで、参加者全員が全力で取

り組む熱意あふれる大会となりました。これらを通じて、私は企画力、リーダーシップ、そしてチームワークの醸成の必要性を学ぶことができました。

私のもう一つの「挑戦」は、近畿大学大学祭実行委員会の企画制作部に所属し、生駒祭のメインイベントの企画・運営に携わったことです。企画制作部は、生駒祭を盛り上げるためにアーティストのチャリティーコンサートやよしもののお笑いライブなど、多くのイベントを手掛けます。その中で私が特に力を注いだのが、「Kindai Street Live」という野外音楽ステージの企画です。このイベントは、音楽の力で生駒祭を盛り上げるという目標を掲げたものですが、私自身が企画制作部に所属した目的そのものでした。この目的であり夢であることへの実現に向け、近畿大学生に弾き語りで歌唱してもらおうという企画を立案し参加者を募ったところ、8名の学生から応募があり、その中から3名の方にステージで演奏していただきました。当日は、どの演奏も心に響く素晴らしいパフォーマンスで、通りすがりの方々も足を止めて聴き入っていました。最終的に185人の方がイベントに参加してくださり、目標どおりの生駒祭の運営と自身の夢が実現したという達成感を得ることができました。

これらの企画や運営といった「挑戦」は、アイデアを形にする過程の難しさがありますが、それらの達成でしか見ることが出来ない景色と充足感を体験することができました。また、「挑戦」が自分自身を成長させる力になることを実感しました。

これからも、積極的に新しいことに挑戦し、自分の可能性を広げていきたいと思っています。



特集2 学生生活に向けて 学生案内フローチャート

困ったとき、相談したいときは、次の場所を訪ねましょう！
詳しくは学生生活ガイドブックをご覧ください。

パソコンを使いたい

KUDOS
(情報処理教育棟)

留学についての相談

**グローバル
エデュケーションセンター**
(1号館2F)

資格を取得したい
授業以外の勉強をしたい
課外講座についての相談

外国語関係科目

ランゲージハブ
(1号館3F)

資格関連

キャリアセンター
(2号館2F)

就職活動についての相談

キャリアサポート・オフィス
(21号館2F)

奨学金についての相談

学生部奨学金担当
(11月ホール1F)

学費納入(分納・延納)に
ついての相談

資金部
(1号館2F)



学生生活で悩む前に参考にしたい名言

経営学部学生委員会委員長 川原 尚子

学生の皆さんは、学生生活をどのように充実させようか、どのように楽しもうかと、日々いろいろ考えつつ、いろいろ挑戦されていることでしょう。一方で、想定外の困りごとに遭遇することもあるかもしれません。学生委員会は、皆さんが充実した学生生活を送れるように、いつもサポートしています。

本稿では、皆さんが学生生活で悩む前に参考にして頂きたい名言を、テーマ別にご紹介していきます。

【人間関係】

「君は君 我は我也 されど仲よき。」(武者小路 実篤)：友達と意見が合わなくても大丈夫です。相手を尊重する気持ちがあればよい人間関係が築けるでしょう。

「人生において、一番大切なことは自己を発見することである。そのためには、時には一人きりで静かに考える時間が必要だ。」(フリチョフ・ナンセン)：一人でいることは恥ずかしいことはありません。自分の時間を大切にしましょう。図書館での読書など、思索を深める時間は宝です。

【日常習慣】

「この世の不幸は、良い習慣をあきらめるほうが、悪い習慣をあきらめるよりも、ずっと簡単だということにある。」(サマセット・モーム)：夜更かし、浪費癖、スマホ・ネット依存など、悪いことほどやめられません。若いときの習慣が人生を作ることを想像してみましょう。あなたは良い習慣をもった人と付き合っていますか。

「習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」(ウイリアム・ジェームズ)：学業、読書、資格取得などの目標をもって、よい習慣を身に付けるようにしましょう。生き方に自信が持て、自己肯定感が高まるでしょう。

【挑戦】

「それはあまり大した問題じゃない。私はいつもこの『それはたいした問題じゃない』という哲学を持ってきた。」(アンディ・ウォーホル)：つい失敗を恐れがちですが、何事も体験であり人生勉強と思い、失敗しても平気と思うことで、成長していけます。

「われわれは現在だけを耐え忍べばよい。過去にも未来にも苦しむ必要はない。過去はもう存在しないし、未来はまだ存在していないのだから。」(アラン)：過去も未来も自分の幻想に過ぎません。今日を充実させることに集中し、明るく前向きに過ごしましょう。

【感謝】

「我々が感じる不満の全ては、我々が持っているものに対して感謝の念を抱くことがないことから生じている」(デフォー)：足るを知ることですべての問題が解決します。何事も当たり前と思わず、自分は幸運だ!と思うと毎日がワクワクし、人生が楽しくなります。

最後に、皆さんの学生生活は「楽あれば苦あり、苦あれば楽あり」の連続です。一方で、日々の努力を続けることで道が開けます。勇気をもって明るく進みましょう。

経営学部自治会から経営学部の皆様へ

①活動内容

私たち経営学部自治会は、経営学部の学生により大学生活を送っていただけるよう、還元活動を行っています。主な活動としてはレシポートや七夕イベントなどの開催、大学祭の運営、雨の日の傘の貸し出しなどです。また新入生交流会や履修相談会を通じて、新入生同士の交流や学業のサポートを提供しています。新入生交流会では楽しい大学生活をスタートするための機会を提供し、履修相談会では初めての履修登録でわからないことや不安などの相談に応じています。それらに加え、七夕イベント、スポーツ大会、ハロウィンイベントなど、休み時間や空き時間に少しでも楽しんでいただけるよう季節に応じたイベントを企画しています。さらに近畿大学で最も大きなイベント、大学祭の企画・運営も行っています。本年度もさらに近畿大学を盛り上げていけるよう、また経営学部の皆さんに充実したキャンパスライフを提供できるよう、経営学部自治会一同、イベントや日々の活動を通してサポートしていきます。

②新入生に伝えたいこと

新入生の皆さん、入学おめでとうございます！この4年間は様々なことに挑戦する素晴らしい時間です。学業、趣味、恋愛、サークル、アルバイトなどぜひ自分の夢中になれるものを見つけてください。困難におつかることもあるかもしれませんが、どんなことも一生懸命取り組み、後悔のない思い出を作ってください。私たちはみなさんの大学生活をサポートします。新入生交流会で皆さんとお会いできることを楽しみにしています！

授業時間

東大阪キャンパス

授業時間は、1 時限 90 分を原則としています。

時 限	時 間
1 時限目	9 : 00 ~ 10 : 30
2 時限目	10 : 45 ~ 12 : 15
昼 休 み	12 : 15 ~ 13 : 15
3 時限目	13 : 15 ~ 14 : 45
4 時限目	15 : 00 ~ 16 : 30
5 時限目	16 : 45 ~ 18 : 15
6 時限目	18 : 25 ~ 19 : 55
7 時限目	20 : 05 ~ 21 : 35

ACADEMIC THEATER

アカデミックシアターは、建学の精神「実学教育」と「人格の陶冶」を礎に、人間のあらゆる知的好奇心を揺り動かす“知の劇場”です。ここでは、アカデミックシアターの魅力を紹介します。

1号館：インターナショナルフィールド

1階 ラーニングcommons

グループ学習の場として開放しています。また、自由参加可能なイベントも多数実施しています。

2階 インターナショナルスタディーズエリア

約9000冊の多読本や、約2000本のDVDで外国語を楽しみながら学ぶことができます。

2号館：実学ホール／オープンキャリアフィールド

1階 実学ホール

約350人を収容できるガラス張りのホールです。

2階 オープンキャリアフィールド

キャリアセンター、リエゾンセンター、社会連携推進センター、学園校友部が1つのフロアに集約されています。

3号館：ナレッジフィールド

1階・2階 自習室（1階は女性専用）

24時間365日開放しています。完全予約制で、UNIVERSAL PASSPORTから予約することができます。入退室には学生証が必要ですので、必ず携帯してください。

4号館：アメニティフィールド

1階 ALL DAY COFFEE

リラックスしながら学べる空間づくりをコンセプトにしたデザイン性の高いカフェです。

2階 CNN Café

アメリカの放送局CNNのリアルタイムのニュース映像を常に放映しています。

5号館：BIBLIOTHEATER(ビブリオシアター)

従来の十進分類法ではない本学独自の図書分類法「近大INDEX」によって7万冊の書籍等を収蔵しています。

1階 NOAH33

実学的・文理融合的な文脈によって、約3万冊の一般図書を33のテーマに分類しています。

2階 DONDEN

マンガを中心に新書・文庫など合わせて約4万冊の書籍を配架しています。

ACT (アクト)

1階・2階に計42あるガラス張りの小部屋で、様々なプロジェクトが日々活動しています。予約制で自由に利用できるACTも用意しています。

6号館：ACADEMIC THEATER Annex THE GARAGE

THE GARAGEは、全国TOPクラスのモノづくりの街である東大阪に、近畿大学が立ち上げた新たな価値創造拠点です。

施設内は、モノづくりの場である「MAKEゾーン」を中心に、素材の展示をしている「MATERIALゾーン」、会員の交流スペース「CAFÉゾーン」の3つで構成されています。

MAKEゾーンでは3Dプリンターやレーザーカッター等、様々な工作機器を用意しています。

GARAGE専用アプリから会員登録をし、機器利用講習を受講すれば、在学生は無料で利用できます。機器予約や材料購入もアプリから操作可能です。専門のテクニカルスタッフによるサポートがあるため、初心者の方でも気軽に利用できます。

またTHE GARAGEでは、様々なイベントやワークショップ、セミナーが開催されています。

気になるイベントがあれば、ぜひ参加してください。

ACADEMIC THEATER ホームページ

アカデミックシアターのホームページでは、ここには書ききれなかった施設情報がたくさん掲載されています。

アカデミックシアターやガレージで開催されるイベント情報も随時更新しているので、チェックしてみてください。

ACADEMIC THEATER ホームページ↓



中央図書館のオンラインサービス

近畿大学図書館は、紙の資料だけでなくオンラインサービス（インターネット上で情報検索ができるサービス）がとても充実しています。オンラインサービスは、自宅PCやスマートフォンからも利用することができます。これから大学での学習・研究を始めるあなたに「使える」代表的なサービスを紹介いたします。



中央図書館ホームページ
<https://www.clib.kindai.ac.jp>

図書館サービスの入り口です。OPAC（蔵書検索）、開館カレンダー、イベント情報、レポートの書き方（学修サポート）、データベースなどが利用できます。まずは中央図書館ホームページをパソコンやスマートフォンの「ブックマーク」に登録しましょう。



OPAC（蔵書検索システム）
<https://opac.clib.kindai.ac.jp>

近畿大学の各図書館（中央・農学部・医学部・生物理工学部・工学部・産業理工学部図書館）と九州短期大学図書館所蔵の資料を検索できます。読みたい本が図書館にあるか、OPACで検索してみてください。

My ライブラリー

中央図書館 HP > My ライブラリー
https://opac.clib.kindai.ac.jp/iwjs0014opc/ufisnd.do?redirect_act=cattab.do

以下のサービスが利用できます。
 (KINDAI_ID・PW でログイン！)
 ・貸出状況の確認（貸出、返却履歴）・延長
 ・図書取寄せ・予約
 ・購入希望図書リクエスト
 ・動画「レポート作成方法」など視聴できます！

《電子ブックのご紹介》

Maruzen eBook Library
<https://elib.maruzen.co.jp/>



各学問分野の学術書のほか、新書・文庫や就職活動に役立つ図書が閲覧できる電子書籍配信サービスです。本文の検索機能もあり、一部の資料を除いて、本文ダウンロードも可能です。学外からも「学認」認証サービスを通じて利用できます。

<https://kudos.kindai.ac.jp/service/GakuNin>

近畿大学中央図書館公式 X

アカウント：近畿大学中央図書館 @Kindai_Clib

※開館時間や各種サービス、イベントに関する情報、公式キャラクター「マグロスキー」の取材日記などを発信します。



近畿大学中央図書館
 キャラクター「マグロスキー」
 ©2013 Kindai University

《データベースのご紹介》

日経テレコン

中央図書館 HP > 検索・調べる > データベース : 学内利用 > 分野で探す > 新聞

1975年以降の「日本経済新聞」ほか4紙の記事などを検索・閲覧できます。日経新聞を読みたいけれど、難しそうだと思う人は、日経テレコンから始めるのがおすすめです。専門用語や時事用語を、新聞記事から調べることもできます。

※新聞データベースでは、明治時代からの記事が検索できる「朝日新聞クロスサーチ」「ヨミダス」「毎索」「産経新聞データベース」などの国内新聞、「Factiva.com」（ファクティバ）「Wall Street Journal（電子版）」などの海外新聞が利用できます。

日経 BP 記事検索サービス大学版

中央図書館 HP > 検索・調べる > データベース : 学内利用 > 分野で探す > 総合

「日経ビジネス」「日経パソコン」など日経BP社発行の雑誌が読めます。就職活動やレポートの書き方まで、サポート記事が充実しています。

《データベースをスマートフォンや学外から利用するには》

データベース学外利用
「RemoteXs」（リモートエックス）
<https://rmx.clib.kindai.ac.jp>



- ① “Login with SSO” をクリック。
 - ② KINDAI_ID・PW を入力。
 - ③ 表示された一覧から、目的のデータベース名をクリック。
- ※初回ログイン時のみ、Terms and Conditions（利用規約）確認画面が表示される。“I agree”へチェックを入れ、“継続”をクリック。

データベースは、一般的なインターネット情報とは異なり、専門情報や信頼できる情報を利用することができます。まずはスマートフォンからアクセスしてみてください。そして、図書館に足を運び、直接本棚から本を探してみてください。みなさんと図書館で出会えることを楽しみにしています。

ランゲージハブ

ランゲージハブは1号館3階にあります。ここでは、様々な目的に合った各種語学講座を無料で受講できます。対面授業、そしてメディア授業も充実しており、自由な受講が可能です。その他、Language Partner Program (留学生とのパートナー制度)や国際交流チーム Connect の活動もあり、学部・学年問わずに利用できる施設です。

■外国語課外講座 (受講料は無料：教材費は別途必要)

【英会話】

4段階にレベルが分かれており、気軽に楽しく英会話レッスンが受けられます。留学経験者の方や実践的な英語力を身につけたい方は「Speaking (Advanced)」,そして留学予定の方は「Speaking (Study Abroad Prep.)」にご参加ください。

【資格検定講座】

「TOEIC®」や留学に必要な「TOEFL iBT® (オンデマンド型授業のみ)」や「IELTS™」をレベル別に多数開講しています。対面授業とオンデマンド型授業があり、自分に合ったスタイルでスコア向上を目指します。

【ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・イタリア語・スペイン語・ロシア語】

各言語を基礎から学び、コミュニケーション能力を身につける入門クラスや会話クラス、そして検定講座など多種多様な授業を開講しています。経験値を問わず、高いモチベーションを持った学生が集まり、リラックスした雰囲気の中で学習できます。

■オンライン集中コース (夏・春期 開講予定)

留学に必要な検定資格対策コースや英会話、第二外国語講座を無料 (教材費は別途必要) で開講いたします。

■Language Partner Program (LPP)

近畿大学で学ぶ留学生のサポートや、言語交換を行うプログラムです。世界各国からの留学生と友達になり、語学力を高めることができます。

※ LPP は、ランゲージハブの外国語課外講座を受講した履修者のみ参加可能です。

■国際交流チーム Connect

近畿大学の留学生と日本人学生との交流活性化を目的とした、イベントの企画や運営を行う、ランゲージハブ所管の学生チームです。興味のある方は、各学期の始めに UNIPA から配信されるメンバー募集の案内をご確認ください。



■講座終了時に、出席・授業態度が良好な学生には、修了証を発行いたします。

< 開講期間 > 前期 4月～7月末 / 後期 9月～翌年1月末 (前期・後期制 / 1クラス 15回授業)

■語学関連の図書・DVDは1号館2階 (インターナショナルスタディーズエリア) にありますのでご利用ください。

近畿大学 ランゲージハブ 1号館3階

☎ (06) 4307-3038 E-mail : language_hub@itp.kindai.ac.jp

web サイト : <https://www.kindai.ac.jp/campus-life/international-exchange/language-learning/>



英語村

英語村は英語への抵抗をなくすことはもちろん、学生同士の会話のきっかけを作る場としても活用されており、「英語を楽しむ」ための施設です。ぜひ一度英語村を訪れてみましょう。英語村の入り口ドア付近にいるスタッフに「チャットがしたい」などの希望を伝えてください。

英語村について①～⑥で説明していますので参考にしてください。

① Passport

英語村で発行しています。チャット・アクティビティに参加してスタンプをもらいましょう。スタンプを最後まで集めるとすてきなプレゼントがもらえます。

② Chat

英語村では英語で話すのがルールです。外国人講師と日常にあったことや趣味など英語で話してみよう。授業ではないので間違っても大丈夫です。外国人講師と話をするとチャットスタンプがもらえます。

③ Activity

英語村では1日に3回アクティビティが行われます。バラエティ豊かなプログラムが、無料で体験できます。毎月の英語村のアクティビティカレンダーを見て興味のあるプログラムに参加してみましょう。英語を聞いて、クイズに答えたりしているうちに自然と英語に慣れていきます。参加するとスタンプがもらえます。

④ Group Study

クリティカルシンキングやコミュニケーション力を強化し、更に高い英語力向上を目的とする英語力中級者以上向けのプログラムです。留学準備としてもおすすめできるプログラムです。参加するとスタンプがもらえます。

⑤ Events

10月はハロウィンパーティー・バースデーパーティー、12月はクリスマスディナーパーティー、その他スピーチコンテストなどさまざまなイベントも開催しています。ぜひ気軽に参加してみてください。

⑥ Basketball

気分は本場のストリートバスケット。英語村事務室でボールを貸出しています。(事前予約制)



英語村チャット風景



オンラインプログラム



パンプキンカービング

※英語村 運営期間および時間 月曜日～金曜日 12:00～18:10

※詳細は英語村ホームページをご覧ください。

近畿大学メディカルサポートセンターのご紹介



メディカル
サポートセンター

近畿大学は、医学部と二つの大学病院を有しており、東大阪キャンパスに保険診療が可能なKINDAIクリニックを有しています。メディカルサポートセンターでは、保健室業務、一般診療、カウンセリング業務を行っています。保健室業務として定期健康診断や健康相談を行っています。KINDAIクリニックでは、内科、婦人科、外科、メンタルヘルス科、睡眠専門外来の診療を、カウンセリング室では公認心理師・臨床心理士11名が心身ともにバックアップしています。気軽にご連絡ください。

医療スタッフ（医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、柔道整復師、鍼師、灸師、医療事務職員）や事務スタッフ女性を多く配置し、女性特有の悩みや疾患に対して女性医師（内科・婦人科）とともに対応できます。

スタッフの所属学会・所属団体

日本内科学会、日本産婦人科学会、日本外科学会、日本神経精神医学会、日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本肥満学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本脳神経外科学会、日本病態栄養学会、日本プライマリ・ケア連合学会（以上、専門医または認定医）
日本女性医学学会（女性のヘルスケアアドバイザー）、日本思春期学会（性教育認定講師）
日本渡航医学会（認定医療職）、日本スポーツ協会（JSPO）（公認スポーツドクター）、
日本医師会（認定健康スポーツ医、産業医）、日本心療内科学会、日本心理臨床学会、
日本学生相談学会、日本精神分析学会、日本LD学会、日本箱庭療法学会、日本産業衛生学会、
日本看護協会

主な業務内容

- ・定期健康診断……疾病の早期発見や健康の維持・増進を目的に毎年度実施
- ・健康管理……定期健康診断の結果による再検査・精密検査および診察、専門医への紹介
- ・健康相談……心身に関わること、薬、医療についてさまざまな相談に対応
- ・カウンセリング……心身についての悩みなどの相談
- ・診察（KINDAIクリニック）……内科（月曜～金曜）・メンタルヘルス科（金曜午前・予約制）
- ・応急処置……小さなケガなどの応急処置、体調不良で静養したいなどの要望に対応
- ・救急患者対応……学内で症状がひどく動けない場合に看護師が出向いて対処
- ・健康診断結果の登録
- ・健康にまつわる多様なイベントや行事の企画・運営

※下記をご参照ください。

業務時間



委託医療機関（校医）



KINCUBA Basecamp

24時間利用可能な近大生のためのインキュベーション施設で、近畿大学東大阪キャンパスを象徴する西門の目の前に位置し、登記利用も可能で環境面からも学生の起業を支援しています。ここでは、施設と起業支援プログラムについてご紹介します。

■施設紹介

入口は顔認証いわゆる「顔パス」で入館することができる施設で、土日含む24時間開館しています。また起業（法人設立や開業）をする際、登録住所にすることも可能で、専門スタッフによる起業相談も受け付けています。

ワークスペース

1、2階とも全席可動式の机と椅子を配置したオープンスペースで、作業や打ち合わせができます。WI-FI・電源・モニターを完備していて、飲食も可能です。

イベントスペース

スクリーン・音響設備があり、最大50名程度を収容できるスペースがあります。起業に関するセミナーやイベントを随時開催しており、学生企画のイベントも実施できます。堀江貴文氏や本田圭佑氏をゲストにお招きし、学生起業家ピッチイベントも開催しました。イベント情報はHPをご覧ください。



キッチンスペース

冷蔵庫、電子レンジ、ポット、IHコンロがあり、自由に使っていただけます。飲食店の開業を目指す学生の試食イベントでも活用しています。

ロッカー／郵便ポスト

鍵の受け渡しや暗証番号が不要な顔認証ロッカーを設置しています。登記利用している場合は会社の郵便ポストとして利用できます。

利用案内

開館時間：24時間
 (スタッフ常駐：平日 8:30~17:30)
 施設利用料：500円/月額
 登記利用料：500円/月額



■近畿大学発ベンチャー起業支援プログラム「KINCUBA」

「KINCUBA (キンキュバ)」とは、「KINDAI」と「INCUBATION」を組み合わせた造語で、近畿大学が全学をあげて取り組んでいる起業支援プログラムです。起業を目指すために必要な学びやマッチングのサポートから、各分野のメンターによる相談受付、キャンパスを活用した事業検証などを行っています。



ステージに応じたコンテンツ提供

- **起業懂れ層**
 (起業に関するイベント、セミナー)
 起業に興味を持ち始めた層に対して、より意識を高めるための起業知識が習得できるイベントを開催しています。
- **起業予備層**
 (新規事業開発プログラム、起業体験プログラム、フードビジネス体験講座、社会起業家育成プログラム)
 起業に関する知識を高めるための講座を開講し、実践トレーニングの場を提供しています。
- **起業準備層**
 (法人登記・開業支援プログラム、近大ビジコン)
 OB 起業家や VC などのメンターによる支援を受けることができ、3ヶ月の伴走支援後、最終審査会に合格した場合、法人設立支援金・個人事業主開業準備金を提供します。また、起業家育成事業の集大成として、年に一度、学生たちが自らのビジネスプランを発表する近大ビジコンを開催しています。



KINCUBA
ホームページ





遊びから本気に

商学科 4年 金相俊ゼミ 株式会社 BOG 代表取締役 楠田 佳紀



私が現在取り組んでいる事業はアパレルブランドの運営と主に企業や大学の部活動などを対象に制服やオリジナルTシャツなどを製作することを行っています。きっかけはコロナ禍で新たな挑戦がしたいと思いアパレルブランドを立ち上げ、小さな規模感でポップアップイベントを開催したことが始まりでした。友達から感謝の言葉や嬉しそうな姿を見て、もっとたくさんの人に喜んでもらいたいと思い規模拡大を決意しました。販売という部分だけでなくオンラインサイトやSNSの投稿を工夫し、仕入れから印刷、梱包まで自分たちで行うことにこだわりました。その結果、質のいいものを低価格で提供することができています。服で世の中を良くすることをテーマに更に規模拡大を実現したいと考えています。



近畿大学ではそんな小さなきっかけから起業し、実現するための支援を受けることができます。さらに、KINCUBA Basecampでは同じ志を持った人たちが大勢いて、そんな仲間たちから刺激を受けながら、切磋琢磨し、共に成長していける環境があります。大きな志を持った近畿大学の学生が1人でも多く行動を踏み出せばいいなと感じています。

近畿大学ではそんな小さなきっかけから起業し、実現するための支援を受けることができます。さらに、KINCUBA Basecampでは同じ志を持った人たちが大勢いて、そんな仲間たちから刺激を受けながら、切磋琢磨し、共に成長していける環境があります。大きな志を持った近畿大学の学生が1人でも多く行動を踏み出せばいいなと感じています。



ネガティブな起業

会計学科 3年 西尾ゼミ 株式会社 Topas 代表取締役 細見 朋暉



私は小学5年生から精神疾患を発症し、現在でも精神科に月に1回通っています。大学1年生の終わりにその影響が色濃く出始め、通常であれば2年生の1年間に休学をしました。休学中の夏頃にお医者様から「サラリーマンとして働くのは難しい」と



言われ、私もそう感じました。ですが仕事をしないと生きてはいけない、どうしよう。そう考えたことから自己分析をした結果、起業がしたいと思い、2023年の4月から起業への取り組みを始めました。その結果、翌年の11月に無事法人化することができました。現在は自分の実体験と好きなことを掛け合わせた二つの事業に取り組んでいます。まだまだ何も成し遂げていない未熟な私ですが、ご覧になられている方々に伝えられることは、私のように大学を卒業してからのビジョンが見えず、何かしたいと考えている方々は腹を括って自分が無意識下で考えてしまう好きなことへ一歩踏み出すことをお勧めします。もちろん辛いことのほうが多いですが、それすらも乗り越えられるパワーが無意識下で考えてしまう好きなことには介在しています。リスクを取らなければリターンは返ってきません。お医者様の言葉のように、私のこの文章が誰かのきっかけになれば幸いです。



近畿大学で学生起業家になろう！

経営学科 4年 西尾ゼミ wakabar 株式会社 代表 杉山 誠一郎

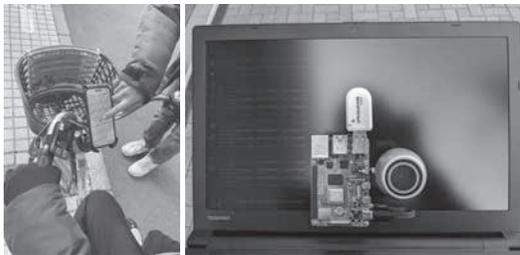


近畿大学に入学してすぐに起業プログラムに参加し、在学中は起業にほとんどの時間を費やしてきました。多くの経験を積み、多くの方々に支えていただきながら、現在の事業に至っております。現在は自転車の新たな安全装備を作り、交通事故の防止をする「ワカバー」を通じて、自転車利用者の意識向上と道路環境の改善に取り組んでおります。自転車に乗る人たちの意識を変えることで自転車の事故を根本的に無くしていくことをビジョンとして事業を進めております。

私は近畿大学の起業プログラムを通じて、顧客の悩みから商品やサービスを立ち上げる手法を学びました。その知識をもとに仲間とともに多くのプランを考案しました。活動の中で「お金を生み出す」段階まで事業を進めることの難しさに直面し、何度も試行錯誤を繰り返しました。現在も学びの最中ですが、自分のやりたいことを見つけ、全力で取り組んでおります。

学生という立場は、起業において非常に強みとなるだけでなく、何度でも挑戦できるという利点があります。まずは一步を踏み出すことで、たくさんの価値観に触れることができます。応援して下さる方やご縁をつないで下さる方を通じて、自分のやりたいことや強みを見つけることができると思います。

近畿大学には、起業プログラムをはじめ、さまざまなイベントや志を同じくする仲間、優れた経営者の方々との出会いがあります。学生という立場だからこそ、起業という選択肢を視野に入れ、挑戦してみたいかがでしょうか。



生協ノーベンバー食堂は、年間を通じて充実した「食の提案」を行います！

カフェテリアノーベンバーでは、現在「昼食時間帯」での食事提供を行なっています。メニューは「週替わり」で、主菜・副菜・丼・カレー・麺類・デザートから好きなメニューを自由に組み合わせるスタイルの食堂となっております。Cafeteria November 人気メニュー「チキン南蛮」や、季節の食材を使用したメニュー・ご当地メニューの企画フェア、管理栄養士考案のメニューなど、年間を通していろいろな企画を行っております。

またキャンパス内では現在2か所（経営学部の21号館1階フードコンビニ Plum/E キャンパス A 館1階）で弁当販売を行っております。

生協にご加入いただきますと生協組合員証＝スマホアプリで電子マネー決済をご利用いただけます。ポイントも付くのでお得です。

・ご当地メニュー企画 ・栄養士メニュー企画（7月）



・人気メニュー「チキン南蛮」



次世代型新食堂 — キャッシュレス、モバイルオーダー —

2019年9月にオープンした新食堂です。オーダーシステムがキャッシュレス専用（一部現金対応）でスマホアプリ「DNS POWER CAFÉ KINDAI」を使用したモバイルオーダーのテイクアウト及びカスタマイズ注文も可能です。

現在は昼食時間帯で食事提供を行っております。メニューは「日替わり定食」を2種類、「週替わり豚カツ定食」、「週替わりラーメン」、丼物、カレー、麺類を提供する「THE CHARGING PIT&DINER」、プロテイン入りのメニュー及びランチボックスを提供する日本の大学で初めて誕生した「DNS POWER CAFÉ」、天然酵母ベーカリーの「聖庵」の3店舗がお待ちしております。

近畿大学の学生さんが考えたメニュー「レシピート」及び「イベントメニュー」、「カレーフェア」等の企画フェアも大変好評頂いております。



本格的なコーヒーを大学内で楽しむ、贅沢で優雅なひと時を

グランフロント大阪の人気のコーヒーショップの近畿大学店です！

おいしいコーヒーを機械抽出や、ハンドドリップにて抽出したものから、エスプレッソマシンを使用しカフェラテなど、1杯1杯丁寧に抽出し皆様へ提供させていただきます。

ブレイクタイムに食べられるパウンドケーキ・ブラウニー・クッキー、毎日作り上げているドーナツなどがございます。全て手作りでショップに揃えております！



世界のニュースやメニューをリアルタイムに感じられるカフェ

店内のモニターでは常時アメリカのCNNニュースがながれており、リアルタイムで世界のニュースに触れることができます。

店内では世界各国のワンハンドフードメニューや、季節のイベント限定メニューなどを楽しむことができます。

大人気の近大ドッグやレモンスカッシュ…まるでアメリカに留学している気分になれます♪



「就社」から「就職」へ～皆さんに求められること

経営学部就職委員会委員長 花木 正孝

現在、政府の要請する就職活動スケジュール（2025年度卒業予定者）は、卒業・修了年度に入る直前（3年次）の3月1日以降に企業が広報活動を開始し、採用選考活動が開始されるのは卒業・修了年度（4年次）の6月1日以降、正式な内定日は同じく10月1日以降となっています。

ところが実際には、3月から6月頃に内々定、内定出しを行う企業の割合が高くなっているため、政府の要請にかかわらず、実質上、前倒しスケジュールで採用活動が行われているのが実態です。また現在では、各企業はインターンシップを事実上の採用活動と位置づけているようです。さらに一部の企業は、大学の学年に関係なく採用選考し、大学1、2年生にも内定を出すことを表明しています。このように昨今、通年採用、ジョブ型採用などの導入に関する報道が多くなってきました。

このことから皆さんは、わが国の企業が、今まで長年続いていた、企業が大学卒業時に新卒者を一斉に採用する、**新卒一括採用**から、欧米などで一般的な、必要な時に必要な人を採用する、**通年採用**に切り替えつつあるという可能性を考えるべきでしょう。また、新入社員を、企業がその生涯に渡って雇用、育成する**終身雇用（メンバーシップ型雇用）**から、これまた欧米などで一般的とされる、企業と求職者が採用時に職務内容（ジョブ）を合意して契約する**ジョブ型雇用**にも切り替えつつある可能性も考えるべきでしょう。加えてグローバルな人材獲得競争が激しさを増していると報道されていることも考慮すれば、わが国でも通年採用とジョブ型雇用への切り替えスピードは、今後想像以上に加速していくことも前提に就活プランを考えてみるのも選択肢に入れるべきでしょう。

さて、新卒一括採用+終身雇用から、通年採用+ジョブ型雇用への切り替わりは、皆さんにどのような影響を与えるのでしょうか？まず考えられるのが、一つの企業でキャリアを全うする「**就社**（いままで「**就職**」と呼ばれていたもの）」ではなく、専門的なスキル・ノウハウを身につけ、それを磨いて、それを求める複数の企業を渡り歩き、キャリアアップを実現する「**就職**（特定の職務に**就く**という「**就職**」本来の意味）」に変わる可能性がでてきたということでしょう。

それでは、本来の「**就職**」をする際に、皆さんは何を準備すればよいのでしょうか？興味関心を持てる、やりがいを感じる業種、業界を探し出し、その中から、給与水準や福利厚生の良いホワイト企業を見つけ、就職活動で必須の

E/S（エントリーシート）にガクチカ（学生時代に力を入れたこと）を書くために、クラブ、サークル活動や、アルバイトなどの社会経験を積むといたったところでしょうか？

もちろん、これらが重要であることに異論はありません。しかし、これらに加えて3つの視点、①**雇用される力**を身につける、②客観的な**自己分析**、③明確な**ライフプラン**を立てる、実行することを、学生時代に行うべきことの選択肢に入れるべきでしょう。

「**雇用される力**」とは、ジョブ型雇用を前提に、企業側が求めるスキル・ノウハウとは何かを考え、これを実際に身につけることです。業界または個別の企業により求められるものは当然異なります。語学力や簿記、ファイナンシャルプランニング技能士、通関士、と様々な要件があります。学生時代から、企業から求められるものを早めに調べ、準備しておくこと＝「**皆さん自身の付加価値を高めること**」も、有益な選択肢になる可能性があります。

「**自己分析**」とは、ある職業に向いているかどうか、**客観的に検証**することです。企業も人間の集団である以上、個々人の性格や能力による向き不向きは当然発生します。ただ単に「仕事内容が好きだから」「良いイメージがあるから」「みんなが良いと言っているから」という理由だけで就職すると「こんなはずでは……」となってしまふ恐れがあります。

「**ライフプラン**」とは、人生100年時代を生きる皆さんにとって、ますます重要になっていくと考えます。充実した生活を送るためには、当然元手（収入）が必要となります。人生のどのタイミングでどの**くらいの収入が必要であるか**、あらかじめ逆算して就職活動を計画的に行うというのも、検討してみる価値があるでしょう。

最後に、皆さんを応援する大学の組織をご紹介します。経営学部では、独自にキャリア・サポートオフィスを設置しています。全学組織のキャリアセンターでは、企業の採用選考に沿った具体的な就職活動支援を行っています。またマスコミ、金融業界、総合商社、公務員などの人気業種を志望する学生を対象に、特別講演会や就職活動対策講座をゼミ形式で行う業界特化プロジェクト（マスコミキャリアゼミ、金融キャリアゼミ、総合商社キャリアゼミ）や、公務員試験対策を実施しています。皆さんが、近畿大学のリソースをフルに活用し、自らの**付加価値を高め**、卒業後に素晴らしいキャリア形成を実現されることを、教職員一同応援しております。

将来や就職活動について相談しよう

～一人ひとりの希望する進路・就職のために～

キャリアセンター

近年、就職環境の変化は激しく、コロナ禍を経た現在は、学生にとって有利な環境「売り手市場」に変化しています。そのため、就職活動は早期化・長期化が加速し、多くの企業でインターンシップ等が実施され、選考の開始とも言われています。企業選びの選択肢も広がり、内定獲得につながる可能性が高まっている中、企業が学生に求める能力は「コミュニケーション能力」「主体性」「チャレンジ精神」と変わらず、人物重視の採用が続いています。満足いく就職活動を送るためにも低年次からさまざまなことにチャレンジし、社会で「働く」ことの意味を認識し、在学中に学んだ知識、関心からキャリアを考えていくことが重要です。

キャリアセンターは、就職に関する相談だけでなく1年生から利用できるキャリア支援の施設です。業界研究会、インターンシップ等、TOEICの学内試験、課外講座など、低年次から利用できるプログラムを数多く揃えています。就職活動時には日本有数の総合大学であるスケールメリットを生かし、幅広く求人情報入手することができます。また、エントリーシートの添削から面接対策、各種セミナーの実施と、一人ひとりに合わせたサポートを行っています。

キャリアセンターは学園校友部、リエゾンセンター、社会連携推進センターと同じ2号館2階のオープン・キャリアフィールドにあります。全国約57万人の卒業生をはじめとした社会とのネットワークを拡充し、さらに充実したサポート体制を整備していきます。

ぜひ、気軽にキャリアセンターに立ち寄ってみてください。

■主なサポート体制

【個別相談】

エントリーシートの添削や面接練習など学生一人ひとりに合わせて丁寧にサポートしています。相談は対面とオンラインを選択でき、就職に関することはもちろん、キャリア形成に関わるさまざまな疑問や質問に対応しており、1年生から利用可能です。

【資料】

新聞、四季報、帝国データバンク会社年鑑などに加えて、ビジネス・就職関連雑誌、公務員受験雑誌など就職活動やキャリア形成のための資料を豊富に取り揃えています。

【キャリアインターンシップ・キャリア教育プログラム・海外キャリア研修 (KIP)】

キャリアセンターでは、国内・海外で働くことを経験・体感できるプログラムを実施。国内は就業体験型や課題解決型など内容は多岐に渡ります。海外はアメリカ・インド・ベトナム・台湾・韓国で研修ができるプログラムを提供しています(開催期により渡航先は異なる)。キャリアセンターで提供しているプログラムはすべて、事前事後研修など万全のサポート体制があり、安心して参加できることも魅力です。

※官公庁や都道府県の経営者協会等に属する会員企業や団体が実施される公務員・団体インターンシップの受付やオープン・カンパニーの案内もおこなっています。

【課外講座】

専門の講師を招いて、キャンパス内で開講しています。公務員試験対策講座、各種資格対策講座等、目的やニーズに合わせ選択し、学ぶことができます。

【近キャリ NAVI での情報提供】

近畿大学生専用のポータルサイトです。就職に関するイベント、求人、企業等に関する情報を掲載しています。また、卒業生が就職した企業情報や学内で開催された業界研究会の企業講演の動画も閲覧でき、自宅等学外からもアクセス可能です。

■キャリアセンター開室時間

※行事等により変更になる場合があります。

- 月～金 8:45～19:00
(7月～12月 18:30まで)
- 土 8:45～12:30
(7月～12月 閉室)



キャリアセンター

1 回生からのキャリア探索～将来を考えるための機会作り～

キャリア・マネジメント学科

皆さん、インターンシップは、「就職活動のため」と思っていませんか。もちろんその目的は、「業界・企業を理解する」、「仕事内容を理解する」などが挙げられます。また、近年では、企業が主催する就職活動に直結するインターンシップが注目されています。しかし、大学には、教育効果を目的とした多様な就業体験があるのをご存知でしょうか。以下、本学科における就業体験をご紹介します。

次にご紹介する、アドバンスト・キャリア実践は、将来を考えるための機会となる就業体験です。

【アドバンスト・キャリア実践】

開講学年	アドバンスト・キャリア実践
2 回生～	将来設計支援型 ・PBL（課題解決）型 ・職種について深く学ぶ ・グループワークによる自主性を修得

■ 1 回生から体験できるキャリア教育実践

（キャリア・マネジメント学科学生のみ）

大学生低学年の早い段階で、“社会を感じ”社会と自分を結び付けることは、将来設計を考える重要なスタートです。企業などの現場では、多くの社会人から働き方、キャリアの話、大学生活へのアドバイスなど、日頃の学生生活では経験できない多くの学びや気づきがあります。この経験こそが、皆さんのこれからの将来設計を考えるスタートとなります。



2024 年度キャリア教育実践の実習風景

【キャリア教育実践 I ・ II】

開講学年	キャリア教育実践 I ・ II
1 回生～	就業体験型 ・社会・組織・人・キャリアを知る ・夏季実習派遣先企業 小売、製造、IT、金融、サービス など多種多様な業界



2024 年度アドバンスト・キャリア実践の実習風景

■ 2 回生から体験できるキャリア教育実践

（キャリア・マネジメント学科学生のみ）

年々、就職活動は、前倒しの傾向にあります。よって、皆さんは、大学入学と同時に将来に向けて、社会人基礎力の向上、職業への適応性を見極める力などを身に付けなければなりません。

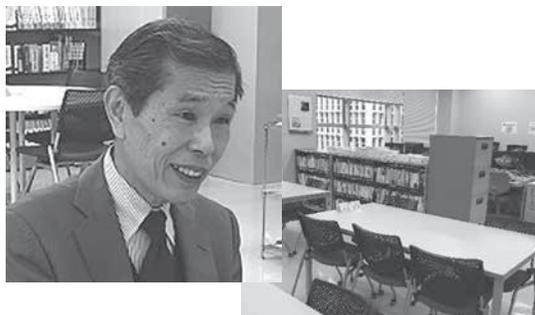
■ キャリアセンターのインターンシップ

経営学部の皆さんは、キャリアセンター主催のインターンシップに参加することができます。基本的な就業体験から海外インターンシップまで、様々な学びを選べます。

自分の将来に向けしっかり準備しよう!!

キャリアサポート・オフィス キャリアサポーター 久米 雅明

経営学部独自の進路相談室「キャリアサポート・オフィス(略称CSO)」のことをご存知でしょうか?皆さんに有効に活用して頂きたいと思い、CSOと主な活動内容について紹介致します。



■ CSOのご紹介

CSOは、経営学部の1～4回生ならどなたでも利用できる進路相談室です。将来の進路決定に関わる相談をはじめ、インターンシップや就職活動の相談、履歴書、ESの書き方、模擬面接など、学生の皆さんの支援を行っています。サポートを行うのは、6人の専任キャリアサポーターで、メーカーや金融など一般企業出身の実務経験者であり、大半のサポーターがキャリアコンサルタントや産業カウンセラー、社会保険労務士などの有資格者です。よって、様々な視点から親身に学生の皆さんの支援を行っています。

また、CSOにはパソコンコーナー、図書コーナーがあり、自由に誰でもお使い頂けます。CSOのパソコンには業界研究情報や自己分析ソフトも入っており、インターネット閲覧も含め有効にご活用下さい。図書コーナーには、日経新聞をはじめ、週刊ダイヤモンドなどのビジネス雑誌やマネジメント、キャリア、経営学に至るまで様々な文献を取り揃えています。

■ CSOの主な活動

【就業体験について】

キャリア・マネジメント学科1回生以上が

履修できる「キャリア教育実践Ⅰ・Ⅱ」で夏休みに7日間程度行われる就業体験の支援を行っています。派遣先企業は、金融業、小売業、製造業、サービス業など様々です。学生の皆さんが、企業での就業体験から多くの学びや気づきができるよう、キャリアサポーターは事前・事後の面談、就業体験中の支援などを行います。また、社会の仕組みや社会人の考え方、実習中の自分への評価を企業から得ることで、キャリア形成などを学ぶ機会は、貴重な体験となります。



2024年度 就業体験の風景

【就職活動支援について】

近年、雇用難からますます就職活動の早期化が進んでいます。3回生の4月から就活が本格的に開始され、夏休みに開催されるインターンシップやオープンカンパニーへの参加申込み数が増加しています。CSOでは、就活が早期化する中で、学生一人ひとりに誠実に対応し、問題の解決のサポートをしています。具体的には、就職活動のスケジュールの説明から、進路相談、自己分析の方法、企業研究のアドバイス、履歴書・エントリーシートの作成と添削、さらには面接対策を行うなど、きめの細かいサポートを実施しています。1回生の皆さんは、3回生になってから慌てることがないように、是非一度ゆとりを持ってCSOへご相談にお越しください。

(CSO:21号館5階 月～金 9:00～17:10)

最近楽しかった時の話をしよう



2017年卒 経営学科企業経営コース 山縣ゼミ 現・株式会社電通 岡村 祥汰

こんにちは。2017年3月に経営学部経営学科を卒業した、岡村祥汰です。先輩です。転職を経て、株式会社電通にてビジネスプロデュース局に所属しております。都民です。でも関西弁は捨てていません。心の中に大阪を。

さて、最近楽しかったこと、皆さんありますか？サークル？旅行？友達と喋ったり？僕は、ライブに行っ、隣の甲南大の男子と一緒に大合唱して、泣いたことです。

この楽しかった気持ちが働くうえでも大事だと感じています。例えば就職先を探す時も楽しかった思い出から考えてみてください。音楽が好きなら、マネジメント事務所・楽曲制作会社・ライブ制作・プロモーション・PRなどなど、色々幅があったりします。

ずっと続けたい事なんて、そうそう見つかりませんから。だから、ちょっと続きそうかも？と思うことを、ちょっとやってみてください。ちょっと嫌かも？と思うことでも、ちょっと楽しめるように工夫してみてください。なので、大学生活では、楽しいな！と思う気持ちをいっぱい作っていくことと、日々の学びや遊びのなかでも、こうしたら楽しいかも！と思う考え方を身に着けるといいんじゃないかと思っています。

こんな卒業生のつぶやきを偉い人が見てないことを願いながら、誰かにちょっとでも言葉が届いたらいいなと願っています。広告業もそんな仕事です！



仕事で生きる学生時代の学び



2023年卒 商学科マーケティング戦略コース 峯尾ゼミ 現・テルモ株式会社 石原 将真

2023年に経営学部商学科を卒業後、テルモ株式会社に入社し、現在は営業として東海北陸エリアの病院を担当しています。主に心臓領域のカテーテル製品を取り扱い、医療現場の課題解決に取り組んでいます。

学生時代は広告論を学ぶゼミに所属し、論文執筆や企業向けのプレゼンテーションなど様々な経験をしました。また、数多くのコンペティションに挑戦し、企画力を磨くと同時にチームで協力しながら課題を解決する力を養いました。これらの経験は現在の仕事にも大きな影響を与えています。

営業という仕事では、製品の魅力をただ伝えるだけでは売れないことが多くあります。病院に新たな製品を導入いただく際には、顧客が抱える課題を明確にし、その課題が引き起こす不満やリスクを整理します。そして、理想的な解決策を描きながら、製品が提供できる価値を具体的に示します。こうしたプロセスは、学生時代に学んだマーケティングフレームワークの応用であり、営業トークに説得力を持たせてくれます。当時は「社会では役に立たない」と疑問もありましたが、今では顧客の信頼を得るための不可欠なスキルとして活用しています。

また、学生時代にグループワークを通じて学んだ「協働して考え抜く力」も、現在の仕事に大きく活かしています。仲間と様々な意見を出し合い、議論を重ねる中で、一人では生まれないアイデアをチームで形にしていくプロセスを体験できたことは、私にとってかけがえのない財産です。ゼミで共に試行錯誤しながら取り組んだ時間は、今の自分を支える重要な基盤となっています。

学生時代は、様々なことに興味を持ち、今しかできない挑戦を存分に楽しんでください。



周りの支えがあったから叶えられた夢

2023年卒 会計学科 川原尚子ゼミ 現・有限責任あずさ監査法人 川崎 花梨

私は2023年に経営学部会計学科を卒業し、現在は有限責任あずさ監査法人で働いており、金融や製造業をメインに監査業務に従事しています。

私は大学入学当初から公認会計士に興味を持っていました。大学で受けた簿記の授業が楽しかったことや、大学の友人に誘われた監査法人のオフィスツアーに参加し、公認会計士の方のお話に感銘を受けたこと等をきっかけに、大学1年生の夏頃から予備校に通い始めました。夕方までは大学で講義を受け、予備校で夜まで会計士試験の勉強に励むという日々を送っていました。

公認会計士への道は想像以上に険しく、なかなか合格できない焦りや、将来の不安で押し潰されそうになることもありました。ですが、諦めようと思ったことは一度もありません。家族や友人、大学の先生等の周りの方々の支えがあったからです。特に大学の先生は、「あなたなら絶対に合格できると信じています。」と、何度も声をかけてくださりました。その言葉を糧に、自分の大学生活全てを懸けてでも合格したいという気持ちから、無事に合格することができました。大学で学んだことは今も監査現場で活かすことができています。

大学の4年間はあっという間で、あんなに自由に時間を過ごすことができるのは後にも先にもないように思えます。何でもできるからこそ、何もせずに終わってしまったなんてことにならないように、自分が興味を持ったことには全力投球してみてください。自ずと、将来になりたい像が見えてくると思います。



ゼミ活動がきっかけで好きを仕事に

2024年卒 キャリア・マネジメント学科 谷口智彦ゼミ 現・株式会社 YRK& 藤井 宥衣

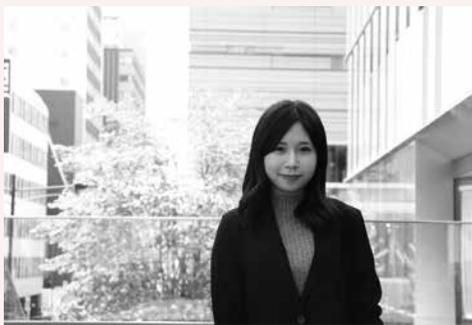
経営学部キャリア・マネジメント学科を卒業後、株式会社 YRK& でクライアントの事業を持続可能な形にするために働いています。

大学時代は、谷口ゼミで組織行動と心理学について学びました。ゼミの活動を通じて、チームワークの楽しさを知り、他者のために働くことや、それによって生まれる笑顔に大きなやりがいを感じました。この経験から、「人のためにも自分のためにもなる仕事に就きたい」という想いで就職活動を進めました。

現在はクライアントの本質的な課題を解決し、自走できるよう最後まで伴走する事業コンサルティングの仕事に携わっています。クライアントの理想に向けて解決すべき課題を抽出し、持続可能な形へと導くためにも日ごろから些細なことでもコミュニケーションを取りあうことを心掛けています。

就職活動をしている中で、私は自分の価値観と企業の価値観のマッチングが重要であり、やりたいことを明確にし、等身大の自分で就活に臨むことが大切だと感じました。

ですので、自身にしっかりと向き合い、等身大の自分で就職活動を楽しんでくださいね。



教員の顔、顔、顔…

ここでは、経営学部に所属する95名の専任教員（2025年4月現在）の先生方の氏名・写真に加えて、①主な担当科目、②研究室の場所に加えて、③趣味をまとめてあります。このプロフィールで先生方について知り、気軽に話しかけるきっかけにしてもらえれば幸いです。

なお、ここに氏名のない教員は、他学部所属か、非常勤講師（近大には原則として週1日程度出講）の先生方ですので、学内に研究室がないことも多いです、授業の前後に直接質問・相談されることをおすすめします。

芦塚 格（あしづか いたる）



経営学科 教授

- ①経営学、中小企業経営論
- ②21-818
- ③アウトドア活動

飯塚 君穂（いづか きみほ）



教養・基礎教育部門 准教授

- ①中国語
- ②18-N411
- ③料理、ウォーキング、バドミントン

石川 雅啓（いしかわ まさひろ）



商学科 准教授

- ①貿易実務論、通関入門
- ②21-844
- ③語学、地図を見ること、鉄道、歴史

磯山 啓明（いそやま ひろあき）



商学科・准教授

- ①ファイナンス論、証券市場論、証券投資論
- ②21-834
- ③テニス、読書、音楽鑑賞、温泉巡り、カフェ巡り

井出 文紀（いで ふみのり）



商学科 教授

- ①貿易論、海外経済事情 B
- ②21-722
- ③仏像巡り、京都の街を歩くこと、飼っている猫と遊ぶこと

稲葉 浩幸（いなば ひろゆき）



商学科 教授

- ①保険論、生命保険論
- ②21-801
- ③うさぎと遊ぶ、家庭菜園

井上 謙仁（いのうえ けんと）



会計学科 准教授

- ①簿記論、会計学基礎論
- ②21-842
- ③音楽鑑賞（主にロック）
読書

岩井 貴美（いわい たかみ）



キャリア・マネジメント学科 准教授

- ①キャリア教育実践 I・II
- ②21-841
- ③旅行、ミュージカル鑑賞、カリフォルニアワインを飲むこと

上西 聡子 (うえにし さとこ)



経営学科 准教授

- ①経営学、環境経営論
- ②21-714
- ③スキューバ・ダイビング
(PADIのMSD保持。次はDMに挑戦)

浦上 拓也 (うらかみ たくや)



経営学科 教授

- ①企業形態論、
ネットワーク産業論
- ②21-806
- ③フルマラソンと家庭菜園に
はまっています。

浦崎 直浩 (うらさき なおひろ)



会計学科 教授

- ①財務会計
- ②21-802
- ③料理、韓国ドラマ、
特に「商道」のファン

大内 秀二郎 (おおうち しゅうじろう)



商学科 教授

- ①商学 A、流通システム論
- ②21-811
- ③Mリーグの動向が気になります。

大島 寛 (おおしま ひろし)



教養・基礎教育部門 教授

- ①生涯スポーツ、
健康とスポーツの科学
- ②18-N402
- ③アウトドアスポーツ、散歩

岡田 龍司 (おかだ りゅうじ)



教養・基礎教育部門 教授

- ①生涯スポーツ、スポーツ指導論、
トレーニング実習
- ②18-N417
- ③旅行、お酒

岡野 英伸 (おかの ひでのぶ)



商学科 教授

- ①商学 B、観光資源論
- ②21-712
- ③テニス、スポーツ・自然に関
する番組を視ること

岡山 武史 (おかやま たけし)



商学科 准教授

- ①リレーションシップ・マーケ
ティング、チャンネル戦略論
- ②21-744
- ③楽器、料理、お菓子づくり

上小城 伸幸 (かみこじょう のぶゆき)



キャリア・マネジメント学科 准教授

- ①経営学、経営戦略論
- ②21-808
- ③カーブ観戦、釣り、スキー

川原 尚子 (かわはら なおこ)



会計学科 教授

- ①国際会計Ⅰ・Ⅱ、社会環境会計、持続可能
性とCSR、サステナブル・ファイナンス
- ②21-701
- ③読書、ジョギング、カレー料理、
自然療法

川村 洋次 (かわむら ようじ)



経営学科 教授

- ①情報管理論、IT ビジネス論
- ②21-804
- ③映画鑑賞 (特に邦画が好き)

岸野 英美 (きのの ひでみ)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①英語
- ②18-N414
- ③犬と遊ぶこと (フレブルとボステリを飼っています)

北田 智久 (きただ ともひさ)



会計学科 准教授

- ①原価計算、工業簿記
- ②21-833
- ③海外ドラマ (SF、コメディをよく観ます)

金 相俊 (きむ さんじゅん)



商学科 教授

- ①旅行業務論、観光マーケティング
- ②21-843
- ③自宅から車で行ける日帰り温泉をすべて制覇すること

金 泰旭 (きむ てうく)



経営学科 教授

- ①経営戦略論、事業システム論
- ②21-819
- ③スポーツジムにおけるストイックなトレーニングと街中の散策、各種料理作りが趣味

熊谷 哲哉 (くまがい てつや)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①ドイツ語、国際化と異文化理解
- ②18-N423
- ③ジョギング、トレイルランニング、お地蔵さんめぐり。

熊本 和正 (くまもと かずまさ)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①生涯スポーツ、体力測定評価実習
- ②18-N404
- ③海水浴、磯遊び

毛海 千佳子 (けうみ ちかこ)



商学科 准教授

- ①サービスマネージメント論、サービス産業論
- ②21-740
- ③食べ歩き、インテリア

古殿 幸雄 (こどの ゆきお)



経営学科 教授 (大学院商学研究科長)

- ①情報システム論、プロジェクト管理論、経営科学
- ②21-803
- ③ワクワクする展開がある海外ドラマ鑑賞

ジョシュア・コーエン (Joshua COHEN)



教養・基礎教育部門 教授

- ①英語
- ②18-N422
- ③サーフィン、セーリング、スノーボード、ゴルフ

四宮 由紀子 (しのみや ゆきこ)



商学科 准教授

- ①観光事業論、
ホテルマネジメント論
- ②21-828
- ③旅行、車、ゴルフ、
お酒 (何でも OK!)

島 吉伸 (しま よしのぶ)



会計学科 教授 (会計学科長)

- ①原価計算、意思決定会計
- ②21-805
- ③最近ゴルフを始めました。
下手すぎて、自分でも驚いて
います

蔣 博文 (しょう はくぶん)



経営学科 准教授

- ①情報組織論、企業と情報戦略
- ②21-738
- ③コーヒー、読書、美術館めぐり、
ボードゲーム

新開 潤一 (しんかい じゅんいち)



商学科 准教授

- ①マクロ経済学、日本経済論
- ②21-718
- ③読書、音楽・芸術鑑賞、
ジョギング

杉浦 仁美 (すぎうら ひとみ)



キャリア・マネジメント学科 准教授

- ①経営組織心理学、
リーダーシップ論
- ②21-716
- ③ゴルフ (初心者)、
推し活 (男性アイドル)

関野 賢 (せきの まさる)



経営学科 教授

- ①財務管理論
- ②21-707
- ③ダイビング、スポーツ観戦

瀬良 兼司 (せら けんじ)



商学科 講師

- ①マーケティング戦略論
- ②21-743
- ③Jリーグ観戦、外気浴、散歩

干手 崇史 (せんず たかし)



会計学科 准教授

- ①会社法、商法総則・商行為
- ②21-737
- ③音楽 (ハウス、EDM系)、
映画 (アベンジャーズシリー
ズが好きです)

仙波 真二 (せんば しんじ)



経営学科 講師

- ①サービスサイエンス
- ②21-736
- ③デジタルクリエイティブ
(主にビジュアルデザイン)

高橋 一夫 (たかはし かずお)



商学科 教授

- ①観光産業分析
- ②21-809
- ③各地の古いお寺を訪ね歩くと
心が安らぎます

高橋 路子 (たかはし みちこ)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①英語
- ②18-N412
- ③茶道、街歩き

高橋 愛典 (たかはし よしのり)



商学科 教授 (商学科長)

- ①商学 A、
ロジスティクス論
- ②21-810
- ③タンバリン

高原 利栄子 (たかはら りえこ)



会計学科 教授

- ①経営内部統制論、監査基準論
- ②21-817
- ③テニス、ドライブ、映画鑑賞

滝本 優枝 (たきもと まさえ)



商学科 教授

- ①マーケティング戦略論、
ブランド論
- ②21-719
- ③アート鑑賞、旅行

田口 由美子 (たぐち ゆみこ)



経営学科 准教授

- ①情報分析論、
データベース設計論
- ②21-836
- ③食ること、スキューバダイ
ビング、水中写真撮影

田中 智泰 (たなか ともやす)



経営学科 教授

- ①企業論、
ビジネスエコノミクス
- ②21-835
- ③ドラマ鑑賞、自転車、
上方芸能

田中 ひかる (たなか ひかる)



教養・基礎教育部門 教授

- ①生涯スポーツ、
スポーツ科学概論
- ②18-N416
- ③なぎなた、
ノルディックウォーキング

田中 ゆふ (たなか ゆふ)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①スポーツ心理学、健康とスポー
ツの科学、生涯スポーツ
- ②18-N409
- ③野球観戦、ゴルフ、
パエリア作り

田邇 智 (たなべ さとる)



教養・基礎教育部門 教授

- ①生涯スポーツ、機能解剖学
- ②18-N408
- ③映画鑑賞

谷口 智彦 (たにくち ともひこ)



キャリア・マネジメント学科 教授
(学部長補佐)

- ①キャリア心理学、職業選択理論
- ②21-821
- ③家庭菜園、アメフト観戦、
海外ドラマ鑑賞

玉井 由樹 (たまい ゆき)



経営学科・教授

- ①アントレプレナーシップ
- ②21-704
- ③筋トレを習慣化したいです

玉置 了 (たまき さとる)



商学科 教授

- ①マーケティング、消費者行動論
- ②21-723
- ③甘い物を食べる、ピザ作り

團 泰雄 (だん やすお)



経営学科 教授 (経営学科長)

- ①人的資源管理論
- ②21-813
- ③オーケストラでバイオリンを弾くこと、鉄道旅行

筒井 万理子 (つつい まりこ)



経営学科 教授

- ①経営組織論
- ②21-837
- ③ポテトチップス、漫画、猫を愛でる

樫本 晃久 (つばきもと てるひさ)



経営学科 准教授

- ①マネージメント・コントロール
- ②21-815
- ③レイトショーでの映画鑑賞、簡単レシピの料理

東郷 寛 (とうごう ひろし)



経営学科 教授

- ①地域経営論
- ②21-734
- ③音楽鑑賞

時本 昌樹 (ときもと まさき)



教養・基礎教育部門 講師

- ①生涯スポーツ、健康とスポーツの科学
- ②18-N415
- ③アメリカンフットボール、ゴルフ、飲み食い

戸田 統久 (とだ もとひさ)



会計学科 准教授

- ①会計学、財務会計、商業簿記
- ②21-741
- ③料理、美術館巡り

鞆 大輔 (とも だいすけ)



経営学科 教授

- ①コンピュータ概論、情報倫理
- ②21-709
- ③B級グルメ食べ歩き、ガンブラ収集、ハムスターを愛でる

中村 文亮 (なかむら ふみあき)



経営学科 准教授

- ①経営学 A・B、経営管理論
- ②21-739
- ③卓球の練習とオープン戦出場

中谷 常二 (なかや じょうじ)



キャリア・マネジメント学科 教授

- ①ターンアラウンド・マネジメント
- ②21-702
- ③アメリカ映画の鑑賞

名瀬 浩史 (なぶち ひろし)



商学科 准教授

- ①マーケティング戦略論Ⅰ・Ⅱ、マーケティングリサーチ論、リテール・マーケティング
- ②21-829
- ③美味しいものを食べる、ギター音楽・マンガ・タイガース

西尾 久美子 (にしお くみこ)



キャリア・マネジメント学科 教授

- ①キャリア・マネジメント論 A・B、モチベーション論
- ②21-713
- ③朝はヨガ、夜はワインとチーズが楽しみ

西田 順一 (にしだ じゅんいち)



教養・基礎教育部門 教授

- ①スポーツ心理学、健康とスポーツの科学、生涯スポーツ1・2
- ②18-N401
- ③世界遺産、温泉、オイスターWWE、スキー、テニス

橋本 剛幸 (はしもと よしゆき)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①生涯スポーツ、健康とスポーツの科学
- ②18-N403
- ③スポーツ観戦

萩澤 大輝 (はぎさわ だいき)



教養・基礎教育部門 講師

- ①英語
- ②18-N405
- ③韻を踏む、哲学書を読む

羽藤 憲一 (はとう けんいち)



キャリア・マネジメント学科 教授

- ①ビジネスシミュレーション
- ②21-822
- ③スキー、ランニング、家電製品の分解・修理、愛犬と散歩

花木 正孝 (はなき まさたか)



商学科 教授

- ①銀行論、外国為替論、デジタル・ファイナンス論
- ②21-721
- ③古代ローマ史・遺跡巡り、野球観戦 (タイガースファン)

原田 信 (はらだ まこと)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①中国語国際化と異文化理解
- ②18-N413
- ③古本屋めぐり、美術品や民芸品の観賞、中国茶を飲む

日野 真紀子 (ひの まきこ)



商学科 准教授

- ①商業史、経営史、海外経済事情 A、西洋経営史
- ②21-720
- ③テニス、水泳、ご当地の美味しいものを食べ歩くこと

平井 大輔 (ひらい だいすけ)



教養・基礎教育部門 教授

- ①英語
- ②18-N424
- ③アイスホッケー、サクソス演奏 (Jazz、Fusion)

平田 美千子 (ひらた みちこ)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①英語
- ②18-N419
- ③漫画収集、ドラマ・ドキュメンタリー・時代劇視聴、トレッキング、山登り

藤井 爽 (ふじい そう)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①英語
- ②18-N420
- ③歴史映画・ホラー映画鑑賞

藤本 和則 (ふじもと かずのり)



経営学科 教授

- ①ネットビジネス論
- ②21-827
- ③スプラトゥーン「ムツゴ楼」を塗る (िकासフィアが得意)

布施 匡章 (ふせ まさあき)



経営学科 教授

- ①IT ビジネス・プランニング論、経営情報論
- ②21-825
- ③プロ野球観戦

文能 照之 (ぶんのう てるゆき)



キャリア・マネジメント学科 教授
(キャリア・マネジメント学科長、経営イノベーション研究所長)

- ①ベンチャービジネス論、イノベーション論、暮らしの中の起業入門
- ②21-807
- ③釣り、展覧会への出展

牧野 耀 (まきの ひかる)



商学科 准教授

- ①マーケティング、製品戦略論
- ②21-845
- ③音楽、ゲーム、お城巡り

松原 光代 (まつばら みつよ)



キャリア・マネジメント学科 准教授

- ①ダイバーシティ・マネジメント、雇用政策論
- ②21-816
- ③アロマ・お香を焚くこと、温泉旅館めぐり

松本 誠一 (まつもと せいいち)



キャリア・マネジメント学科 准教授

- ①業界発展分析
- ②21-717
- ③スポーツ観戦 (在阪、在神チームを応援)

ポール・マーロー (Paul MARLOWE)



教養・基礎教育部門 講師

- ① Business English、基礎ゼミ
- ②18-N418
- ③犬と遊ぶこと、ハイキング、旅行、ロックミュージック

光山 秀行 (みつやま ひでゆき)



教養・基礎教育部門 講師

- ①生涯スポーツ
- ②18-N406
- ③バレーボール、旅行

峰滝 和典 (みねたき かずのり)



キャリア・マネジメント学科 教授

- ①コミュニケーション論、
Information and Communication
Theory in English
- ②21-812
- ③ガーデニング

宮本 多幸 (みやもと ただゆき)



商学科 准教授

- ①Marketing in English、
Tourism in English
- ②21-735
- ③読書、思考、語り合う、
活学すること

森川 亮 (もりかわ りょう)



教養・基礎教育部門 准教授

- ①経営・経済のための数学、
経営数学 A・B、思考の技術
- ②21-732
- ③読書、居合道

安酸 建二 (やすかた けんじ)



会計学科 教授 (経営学部長)

- ①工業簿記、原価計算
- ②21-839
- ③読書、Fishing (人生の一部)、
Skiing、コーヒー、クッキング
、研究…etc.

山縣 正幸 (やまがた まさゆき)



経営学科 教授

- ①企業行動論、企業発展論、
ビジネス実践 B
- ②21-706
- ③音楽鑑賞 (BUMPOF CHICKEN、
RADWIMPS ほか)、能楽鑑賞

山下 京 (やました みやこ)



キャリア・マネジメント学科 准教授

- ①キャリア・カウンセリング論
- ②21-820
- ③旅行、かけ流し温泉の探求

山田 雄久 (やまだ たけひさ)



経営学科 教授

- ①経営史、人材形成史
- ②21-703
- ③考古学・現代史、サブカル
チャー (大衆文化)、世界遺産

横見 宗樹 (よこみ むねき)



商学科 教授

- ①交通論、航空交通論
- ②21-840
- ③旅行、登山

芳澤 輝泰 (よしざわ てるやす)



経営学科 准教授

- ①コーポレートガバナンス論、
ビジネス・エシックス
- ②21-838
- ③ドライブ、模型作り

吉田 幸治 (よしだ こうじ)



教養・基礎教育部門 教授

- ①英語
- ②18-N425
- ③ギター演奏、
人気のない史跡めぐり

吉田 忠彦 (よしだ ただひこ)



経営学科 教授

- ①非営利組織経営論
- ②21-824
- ③鮎の友づくり、エレキギター蒐
集・研究など多数

吉田 政之 (よしだ まさゆき)



会計学科 准教授

- ①財務分析、企業分析
- ②21-814
- ③昼寝

李 超 (り ちょう)



キャリア・マネジメント学科 准教授

- ①チームビルディング
- ②21-715
- ③ヨガ、旅行、カフェ巡り

渡邊 宏美 (わたなべ ひろみ)



会計学科 准教授

- ①会計学基礎論
- ②21-832
- ③散歩、落語、観葉植物

渡辺 泰明 (わたなべ やすあき)



商学科 教授

- ①国際経済論
- ②21-830
- ③テニス、ゴルフ、ガーデニング

和田 博志 (わだ ひろし)



会計学科 教授

- ①簿記論、商業簿記
- ②21-823
- ③茶道、酒道、鉄道

経営学部の新星

商学科 准教授 石川 雅啓

はじめまして。今年度から、貿易実務、貿易英語、通関等を担当することになりました、石川雅啓と申します。

現在研究していること、また今後深めて行きたいのは、まず一つ目として、世界各国の通関・関税制度の動向です。世界の通関・関税法はそれぞれの国・地域の国内法ですが、貨物の出口である輸出通関の先には、貨物の入口である輸入通関があります。つまり、貨物の出入りを通じて、世界の各国・地域の関税法が繋がっているのです。このため、これらの制度は、世界で共通する制度であることもあれば、各国・地域の独自の制度もあります。この構造と、動向を解明したいと思っています。もう一つは、我が国の貿易振興により貢献できる専門家となるための通関士制度の改革提言です。

学生時代には、好きなことをもっと思う存分やれば良かったということの後悔をしています。具体的には私は語学が好きなのですが、学部の専攻語のタイ語・ラオス語のほかにも、フランス語や中国語、ほかにもラテン語やサンスクリット語のような古典語ももっと勉強すれば良かったと思っています。なぜなら、自分が好きなことはもっとやろうと思えばきっとできたと思うからです。そこで、皆さんには学生時代、とにかく自分の好きなことを思い切りやってほしいと思っています。それから、これからの時代、分野を問わず、日本だけのことを考えていれば良いということはありません。何事もグローバル、ボーダーレスな視野に立って物事を考える必要があると思います。



商学科 准教授 磯山 啓明

みなさん初めまして。今年度からファイナンス論、証券市場論、証券投資論などを担当することになりました。磯山啓明です。

研究では、会計情報に含まれるリスクを市場の投資家がどのように評価しているのかを主要な研究テーマにしてみました。一般に、企業の実態については経営者の方がよく知っており、投資家はそれに比べてよく知らないという情報の非対称性が存在します。この情報の非対称性を緩和するために、経営者は情報開示を行うことを制度的に義務付けられています。しかし、経済の変動に伴って情報環境は変動しますし、経営者の情報開示に対するコミットメントや情報開示の戦略も変化すると考えられるので、情報の非対称性の程度は常に変動していると考えられます。この変動リスクに晒されることへの補償として投資家はリスクプレミアムを求めると考えられますが、財務諸表や株価データを使って実証分析を行うと、この仮説を支持する結果が得られます。現在は、情報の非対称性に関するリスクがどのような状況下でより顕著になるかを詳細に分析しています。

座右の銘は「Where there is a will, there is a way. (意思のあるところに道は開ける)」です。いばらの道であっても、信念を持って進めば道は必ず開けると考えています。

学生時代には、世の中を広く見渡す視点を身につけ、人間性を高めるような経験を多く積むとよいと思います。大学にはさまざまな挑戦の機会が用意されており、その挑戦は際限なく続くものです。みなさんにはそのような経験を通じて困難に立ち向かう人間力を磨いてもらいたいと考えています。



経営学科 教授 玉井 由樹

初めまして。玉井由樹と申します。今年度から特殊講義（アントレプレナーシップ）などを担当することになりました。宮城県仙台市の出身です。これまで愛知県や広島県の大学で勤務してきた経験があり、それぞれの地域に本拠地を置く野球チームの試合を観戦することが楽しみのひとつでした。今年から関西に拠点を移すこととなり、阪神タイガースの試合を観に行くのが楽しみです。



私の研究では、アントレプレナーシップをテーマにしています。これは単に起業を目指すものではなく、社会課題を発見し、それに対する解決策を考え、行動を通じて新しい価値を創造する力を育むものです。特に、小学生から大学生まで、どのようなタイミングで自ら課題を見出し、その解決に向けた行動に興味を持ち、実際に取り組むのかを明らかにする研究に取り組んでいます。また、そのプロセスを支援する教育方法や、学生の創造性を引き出すワークショップの設計、地域社会に貢献する新しい学びの場づくりにも関心を持っています。

アントレプレナーシップ教育では、主体性、創造性、協働力、問題解決力など、どの分野でも発揮できる力を磨くことが目標です。社会課題に柔軟に対応し、自分なりにリスクを受け入れながら挑戦する力を、みなさんとともに高めていけたらと思います。

大学生活は、自分の可能性を広げ、未来への挑戦を始める貴重な時間です。この特別な時期を充実させる一助となれば幸いです。どうぞよろしく願っています。

商学科 准教授 牧野 耀

はじめまして、今年度から製品戦略論やマーケティングを担当することになりました。牧野耀です。

専門分野はデザインとマーケティングです。これまでの研究では、身体や行動に訴求する顧客経験について扱ってきました。通常、未知の製品／サービスでは、消費者は不安や理解不足から、戸惑うものです。こうした場面で、よい経験として提供されたり、自然と触れたいくなるようなデザインであったりすると、その製品／サービスと消費者の関りはすごく嬉しかったり、心地良かったりします。そして多くの人が長く使える名品になることもあります。みなさんはこうした製品に出会ったことはありますか。こうした人間の身体や感情に関わる経験を分析できるようにするため、デザインとマーケティングの両方の観点から研究に取り組んでいます。



私は最近でも、もっと研究を進めたい、英語、デザイン、ギターが上手になりたいなど、取り組みたいことが多く積みあがっています。学生時代の未練です。学生時代は、一人でも友達とでも、没頭したり、読みふけったり、身に付けたら、ほっと考えたりできます。たっぷりある時間は、忙しくなってからでは困難な飛躍や成長、道の発見に繋がるかもしれません。貴重な学生生活の時間を有意義に使ってみてください。

新しい環境で緊張しますが、積極的に新しいこと、面白いことに取り組んでいけたらと思います。諦めず継続することは得意です。どうぞよろしく願っています。

あっという間に駆け抜けた 近畿大学での19年間を振り返って

勝田 英紀

1982年に大阪外大を卒業し小野薬品に入社し、国内営業6年、国際事業部12年の合計18年間働きました。交通事故により将来下半身不随になるかもしれないと言われ、体が動くうちに学位や資格を取ろうとして、大阪市立大学第2部商学部に進学しました。ゼミの指導教官の石川先生の勧めで、大阪大学大学院経済学研究所の仁科先生の下で経済学の学位をいただき、大阪市立大学の佐合先生の紹介で、2006年4月に近畿大学経営学部に入職し現在に至っています。

入職後、難病の後縦靭帯骨化症と脊柱管狭窄症で歩けなくなり、心筋梗塞で死にかけ、先生方や事務の皆様にご配慮いただき、19年間働くことができ定年退職を迎えました。ありがとうございました。

2006年4月の歓送迎会の舞台上で、ゼミ生の就活は、早稲田、慶応、近大にすることを公言し、全く就活実績のなかった一流企業に多数の学生を就職させることができました。私のゼミの就職対象は、倉庫、物流、大手メーカーです。三井倉庫7名、住友倉庫6名、澁澤倉庫3名、センコー13名と、トップの三菱倉庫以外の大手倉庫にはすべて就職させました。物流は世界トップのFedEx2名、シェンカー1名、DHL1名です。国内では、日本通運8名、近鉄エクスプレス7名、阪急阪神エクスプレス13名、西日本鉄道6名、鴻池運輸11名、日本トランスシティ6名、郵船ロジスティックス2名等大手の物流企業にはすべてに行かせています。その他の企業では、JA全農（全国総合職）に10名と農学部よりも多いです。その他三菱電

機、シャープ、ローム、クボタ、YKK等の大手並びに1000億以上の売上の会社に多数就職させています。

私の採用時の学部長の興津先生には、3つの約束をしました。第1に論文を50篇以上、海外のものを含め査読論文を15編以上書くことです。これはクリアしました。第2に通関士試験に毎年10名以上合格させること。これは最後のゼミ生が7名合格したのが最高でした。本当はこれが一番安易だと思ったのですが残念でした。第3に、ばかにされていた近大生の就活をよくするために、30名以上のゼミ生を、今まで実績のない一流企業に多数就職させ定着させることでした。これは、半分以上の学生を上場企業に就職させ、中でも一流企業には前述のごとく多数就職させています。

このようにゼミ活動を通じて、通関士などの資格を取得し、いい会社に勤めている卒業生たちは、入院すれば見舞いに来てくれましたし、市議会議員選挙の時も応援に来てくれました。わが家での餅つき大会や新年会にも多数参加し大騒ぎでした。またゼミの忘年会や打ち上げ会などにも参加して、わが家での二次会で後輩にいろいろ社会のことを教えてくれました。おかげさまで結構面白おかしく過ごさせてもらい、あっという間に定年退職かと思っています。みなさま、ありがとうございました。



マーケティング・デザイン研究と教育

廣田 章光

デザイン研究

近年、経営学とマーケティングの分野において「デザイン研究」への関心が高まっています。マーケティング学会では2016年にデザイン思考研究会が設立されました。一見すると新しい研究領域のように思えますが、1978年のノーベル経済学賞受賞者ハーバート・サイモンが、その重要性を『システムの科学』（1969年）で既に示しています。サイモンは「世の中をより良くする行動はすべてデザイン行動である」と定義しました。その後、Owen（1997, 2007）らによってこの研究はモデル化され、さらに発展を遂げています。

人間とコンピュータの融合研究

サイモンは意思決定とコンピュータの分野でも卓越した成果を挙げ、1950年代から人工知能の研究に取り組んでいました。当時、スタンフォードとMITがコンピュータ技術の延長線上で研究を進める一方、サイモンが所属していたカーネギー・メロン大学は、人間の曖昧な感覚に着目し、心理学とコンピュータ研究を融合させた独自のアプローチを採用していました。この分野は「認知科学」と名付けられ、現在も幅広い研究に影響を与えています。サイモンの研究テーマは「人間はどのように問題を解決するのか」という点にあり、その探求のため領域横断的な研究に取り組みました。そして問題を適切に定義できれば、どのような問題も解決可能であることを示しました（富田2017）。

問題発見と問題解決

デザインの基本構造は、問題の「発見・定義」とその「解決」という2つの行動から成り立ちます。これらは、デザイン経営、サービス・デザイン、デザイン思考といった現代的な領域の基礎をなすものです。経営、マーケティング、イノベーションの分野でデザインが注目される背景には、この「問題発見・定義」の重要性があります。現代のビジネス環境では、経営者や顧客から問題が提示されるのを待つのではなく、個人が自ら問題を発見し、解決する能力が求められています。

デザイン・クリエイティブ研究所

2022年4月、近畿大学に17番目の研究所と

してデザイン・クリエイティブ研究所が誕生しました。この設立には、経営学部の布施先生、山縣先生、松本先生、名測先生、仙波先生とのデザイン研究・教育における継続的な連携が不可欠でした。この研究所は、近畿大学の経営学部、文芸学部、情報学部が連携して活動を展開しています。それぞれの学部に所属する研究者の専門領域は多岐にわたりますが、生成AIが急速に普及する現代において、人工知能研究を「認知科学」のように分野横断的な視点で進める必要性が高まっています。この研究所は、理系・文系の枠を超えた分野横断型の研究および教育プログラムの開発を進め、学内に留まらず社会全体に開かれた活動を展開しています。

おわりに

2008年4月に近畿大学に赴任して以来17年間、多くの同僚の先生方や職員方から刺激を受け、支えていただきました。歴代の学部長をはじめ、すべての学部所属の先生方にこの場を借りて深く感謝申し上げます。特に、商学科マーケティング戦略コースの大内先生、玉置先生、滝本先生、岡山先生、峯尾先生、瀬良先生、柳先生（短期大学部）には、日本商業学会関西支部の事務局校を近畿大学が担当するにあたり、その運営に多大な時間と労力を割っていただきました。心よりお礼申し上げます。先生方、職員の皆様のさらなる活躍と、近畿大学経営学部のさらなる発展を心より祈念しています。

また、在外研究期間中も採用し続けた研究室の学生たちは、研究と教育を連携させる活動スタイルを推進してくれました。そして様々な産業分野の企業から提供された課題を、マーケティング研究やデザイン研究の知見を活用して解決し、その成果を卒業研究としてまとめました。350名を超える卒業生がこの活動に挑戦し続けてくれたことに深く感謝するとともに、さらなる活躍を願っています。

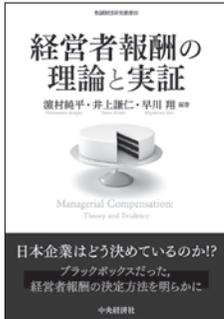


出所：個人写真データをもとにDALL-Eにより生成

『経営者報酬の理論と実証』

濱村純平・井上謙仁・早川翔 編著（中央経済社、2024年11月）

井上 謙仁



本書は、日本企業の経営者報酬(役員報酬)の実務についての研究です。2020年前後で経営者報酬に関連する制度が大きく変化しました。企業はこの要請にしたがって、経営者報酬の決定の仕方を決めてそれを開示する必要が出てきました。しかし、日本企業の経営者報酬の実務については明らかでないところが多いです。この場合、自社の報酬契約を改善させようとしても、どのような経営者報酬が望ましいのかを決めることができない可能性があります。本書では、管理会計の視点から、日本企業の経営者報酬の実務について分析しています。経営者報酬の決定に役立つような報酬実務についての証拠を提示するのが

本書の目的となります。

本書には、編著者を含め19名での研究成果が収録されています。近畿大学経営学部からは井上のほかに、千手崇史先生、北田智久先生、吉田政之先生が参加しています。それぞれの先生が得意とする研究手法を活かし、理論研究、実態調査、実証研究という多面的な手法により研究を実施しています。理論研究では経営者報酬の実務について理論的な解釈をしております。実態調査では、個々の企業の経営者報酬に関する開示情報を見ることで、各企業のユニークな実務が観察されています。また、実証研究では、日本企業の経営者報酬データを用いた包括的な分析が実施されています。これらの様々な観点から研究を実施することで、日本企業の経営者報酬の実務をより深く明らかにすることができます。ここから得られる証拠は、経営者報酬の決定に有益な指針を与えてくれることになるでしょう。

『流通と消費者』（日本消費経済学会創立50周年記念集 第3巻）

岩永忠康・佐々木保幸・西島博樹 編著（五紘舎、2024年11月）

大内 秀二郎・岡山 武史・玉置 了



本書は、日本消費経済学会の創立50周年記念シリーズ3部作のうちの第3巻である。第1部「現代の流通問題と消費者」、第2部「現代の小売業態と消費者」の二部構成となっており、15人の著者がそれぞれ1章ずつ(序章を含む)担当している。以下では、本学教員3名の担当章を簡単に紹介したい。

第2章「流通環境の変化と消費者」(担当・玉置了)では、流通環境の変化を持続可能性への関心の高まりとデジタル化の視点から捉え消費者への影響を論じた。まず、エシカル消費について概説し、その促進には消費者のアイデンティティが重要であることが強調されている。後半部分では消費者のSNS上のコミュニケーションについてまとめられ、エシカル消費による自己表現の場としてのSNSについて検討がされている。

第3章「流通DXと消費者」(担当・岡山武史)では、近年に飛躍的な発展をみせる流通企業のテクノロジーについて分類をしながら説明している。また、これらテクノロジーがいかに顧客体験や実店舗内の場を豊かに生き生きとしたものにできるかについて実際の小売店のケースを通して示された。店舗ではリアルとデジタルが融合され、店内に訪れた顧客が多くのブランドと出会い、体験し、関係構築できるような仕組みが構築されていた。

第5章「流通系列化と消費者」(担当・大内秀二郎)では、家電メーカーによる流通系列化の歴史的展開を概観するとともに、地域電器店に今後期待される役割を展望した。戦後にメーカーの流通系列に組み込まれた地域店は、1990年代以降徐々に退潮に転じ、今日では販路としての役割は消滅しつつある。他方、地域店の顧客接点としての強みを活用する新たな動きも見られ、社会インフラとして大きな役割を担うことが期待される。

これらの他にも、本書には現代の流通と消費者の諸相について興味深い論考が多く収められている。商学や流通システム論、消費者行動論、リテール・マーケティング、デジタル・マーケティング、チャネル戦略などを学ぶ学生にとって副読書として好適である。

『入門ガイド 品質管理のマネジメント (第2版)』

古殿幸雄 著 (中央経済社、2024年9月)

古殿 幸雄



品質管理という言葉からは、製造業における製品の質を対象とする管理と考えられがちである。しかしながら、品質管理は、Quality Controlの日本語訳であって、本来の意味は、質の調整(制御)である。質は、製品だけではなく、サービスの質や仕事の質などと言うように、あらゆる質のことを意味している。第二次世界大戦後の日本は、このQCによって低価格で高品質な製品を産み出し、高度経済成長期を経て経済大国になった。そのためQCの解釈は、製造業における製品の質を良くする管理にとど

まってしまった。そして、バブル経済崩壊後は、あらゆる質に対して有効なQCを活用できずに、経済成長がゼロに近い状態が長期間に渡って続いている。このような状態を打開し、持続的な経済成長を実現させるためには、製造業だけではなく、医療・福祉・サービス・行政などのあらゆる分野に有効なQCを見直し、適用する必要があるだろう。本書は、18年振りに内容が改訂されており、QCの意義や手法からはじまり、デミングの経営哲学やマルコムボルドリッジ国家品質賞・日本経営品質賞、品質マネジメントシステムや環境マネジメントシステム、シックスシグマなどについても取り上げ、品質管理をあらゆる分野で活用し、マネジメントに活かせるように、わかりやすく解説した入門書である。

まってしまった。そして、バブル経済崩壊後は、あらゆる質に対して有効なQCを活用できずに、経済成長がゼロに近い状態が長期間に渡って続いている。このような状態を打開し、持続的な経済成長を実現させるためには、製造業だけではなく、医療・福祉・サービス・行政などのあらゆる分野に有効なQCを見直し、適用する必要があるだろう。本書は、18年振りに内容が改訂されており、QCの意義や手法からはじまり、デミングの経営哲学やマルコムボルドリッジ国家品質賞・日本経営品質賞、品質マネジメントシステムや環境マネジメントシステム、シックスシグマなどについても取り上げ、品質管理をあらゆる分野で活用し、マネジメントに活かせるように、わかりやすく解説した入門書である。

『DMOと観光行政のための マーケティングとマネジメント』

高橋一夫 著 (学芸出版社、2024年12月)

高橋 一夫



タイトルの通り、DMO (Destination Marketing/Management Organization) と観光政策を担っている行政マンに向けて書いた本です。DMOは求められているデスティネーション(観光地)マーケティングの知見が不足していて、地元の関係者の期待に応えられないとか、観光行政もイベントやプロモーション以外にやるべきことが分からずDMOと同じことしか考えられないなど、葛藤を抱えている人が多いのも事実です。

この原因は、行政の人事制度と三セク経営にあります。DMOは本来、組織の利益追求を目的とするのではなく、自治体の観光政策の実現のために公共性の高い業務をこなしていくプロ集団でなければいけません。出向者の帰属意識、構成メンバーの専門性、人事評価制度の運用、観光行政との役割分担、財源などの課題が明らかになってきており、観光地域づくりの司令塔となりきれないジレンマが横たわっています。

これらの課題を議論することは必要ですが、本著では深く触

れません。本著では、ジレンマを抱えながらも地域観光に献身する人たちに、デスティネーションのマーケティングとマネジメントの「勘どころ」をお伝えすることを目的として執筆しました。

DMOは観光まちづくりの舵取り役として位置づけられ、デスティネーション・マーケティングを担う役割が与えられました。観光庁のDMO政策は高度化し、商学や経営学の視座から観光地のマーケティングやマネジメントの実行を求めています。これまでの経験とそれを基盤にした知識だけではなく、理論やデータを取り込んだ施策展開への切り替えを求めたのです。しかし、いきなりそう言われても、何をどうしてよいかわかりません。そもそもマーケティングとは調査をすることだと理解していた人たちも多く、何をしなければならぬか混乱をした地域は多いようです。そのため、業務委託をするのですが、表層的な取り組みとなりがちでした。

本著は、DMOや観光行政の職員の方々や勘どころを知ること、事業を内製化できなくともしっかりと事業者とディレクションできることを目指した手引書です。観光実務に関わる理論も多く紹介しています。理論は現場の悩みにストレートに答えを出してはくれませんが、解決に向けての手がかりを与えてくれます。実践の中で、理論を乗り越えていってくれる人が出てくるのが願いです。

『1からの観光事業論（第2版）』

高橋一夫・柏木千春（大正大学地域創生学部教授）編著（碩学舎、2025年3月）

高橋 一夫



本書は観光の初学者に向けて2016年に発刊した本の第2版です。その4年後には新型コロナによるパンデミックに見舞われました。コロナ禍では、デジタルの活用が拍車がかかった感があります。外出自粛要請は、オンラインミーティングを日常のビジネスシーンに織り込んでいきました。遠方にいる人たちとこんなに簡単に顔を合わせ、書類や写真を見せながらスムーズな会議ができるのだということを知る機会となったのです。コロナ禍が明けてもビジネス出張の一部は戻らないことが分かりました。そのため、観光関連企業は失われた需要を新たな成長戦略で取り戻していこうという中期経営計画をコロナ禍の最中に取りまとめていきました。初版の時とは経営環境に大きな変化があり、この変化を取り込みたいと考えたのが第2版です。

3部構成になっており、第1部は「観光マネジメントの特性」「マーケティング」「イノベーション」「グローバル」「デジタル」をテーマに、商学や経営学の視座から各章の事例を解説している総論にあたるものです。

第2部は、大手旅行会社や航空会社、ホテル、鉄道、テーマパークという観光関連産業の事例を取り上げ、例えば旅行会社であれば、旅行事業だけでなくBPO分野への事業ドメインを拡大することでコロナ禍あるいはコロナ後の成長市場を取り込んでいこうとする様を紹介し、なぜそれが上手く運営できているのかについて解説しています。

第3部は、インフラと地域の観光事業です。関西エアポートのコンセッション、大阪IRと観光政策、地域ブランド、インバウンド、観光まちづくりについてです。観光振興による地域の活性化に欠かせないハード、ソフトのインフラについて解説しています。

観光を学ぼうと大学に入学した学生に、仕事の仕組みや事業を行うための知識、理論を学ぶことで科学的な理解につなげ、より明確な目標として観光事業を意識してもらいたいと願う一冊です。

『セミコロン かくも控えめであまりにもやっかいな句読点』

セシリア・ワトソン 著／萩澤大輝・倉林秀男 共訳（左右社、2023年9月）

萩澤 大輝



原題を直訳すると『セミコロン：誤解を受けている句読点が書き方を洗練させ、読み方を充実させ、さらには生き方まで変えてくれるワケ』といった感じ。言葉の世界を縦横無尽に旅するうちに、その「ワケ」が解き明かされていく仕組みになっています。著者は英語のライティング、歴史学、哲学など幅広い分野に通じたジェネラリストで、その博識ぶりが遺憾なく発揮された、いわばジャンル不詳の読み物です。

内容は大きく4つに分かれます。1つ目はセミコロンの数奇な歴史を辿るパート。セミコロン発明・受容の経緯から、ルール本の成立までが語られます（1～3章および6章）。文法家の悪戦苦闘を楽しく眺めているうちに、重要な事実が浮かび上がってきます。カッコリとした決まりを人為的に定めても、実際の使われ方は実に多彩で、規則の縛りを自由自

在にすり抜けていくのです。

4・5章で扱われる「規則」は句読点の使い方を定めたルールではなく、句読点を用いて書かれた「法律」です。英米ではある時期を境に条文内の記号の解釈をめぐる訴訟が立て続けに勃発。なんと人の命が左右される事態と相成ります。さて、その結末やいかに――。興味深いエピソードが満載ですが、次第に中心テーマである〈倫理〉に収斂していく様子は本書最大の見せ場のひとつです。

7章では打って変わって、英語の名手がセミコロンを巧みに活用した文章を鑑賞し、その効果が生じ要る仕組みを考察します。

そして最後は倫理的なコミュニケーションへと読者を誘うパートです（8章以降）。ここまでの話題はすべて布石だったとも言えます。規則を絶対視すると自縄自縛に陥るばかりか、他者をあげつらう態度にもつながりかねません。

面白おかしくトリビアを披露するようなテイストの本とは一線を画す、コンパクトながら中身の詰まった一冊となっています。原著のユーモアも再現すべく腐心しました。ぜひ一度お手にお取りいただければ幸いです。

『大学入試 無敵の難単語 PINNACLE 420』

山崎竜成・駒橋輝圭・萩澤大輝 共著（アルク、2023年10月）

萩澤 大輝



ephemeral, upheaval, mitigate……近年の大学入試では、特に早稲田・慶応を中心として、これまでの常識では考えられないレベルの難単語が当然のように（往々にして注釈もなしに）登場し、しかもその意味を問われることが増えています。そうした趨勢に対応する手段は限定的でした。英検1級やTOEFLなどの

単語帳が数少ない候補でしたが、当然ながら出題傾向は異なります。日本の大学受験以外のカテゴリに照準を合わせた教材では、時間の限られた受験生は非効率的な勉強を強いられるしまうわけです。そこで、予備校講師の先生とタッグを組んで作り上げたのがこの難単語集、通称「ピナクル」です。

掲載する語の選定においては、「難関大での出題歴」と「既存の単語帳のカバー範囲」の両方を慎重に調

査しました。すなわち、いたずらに難語を紹介するのではなく、実際の入試で問われるものを精選し、しかも高校生向けの英単語帳ではカバーされていない単語に絞って掲載したということです。実際に出題されるけれども標準的な教材では学べない難単語が高純度で詰め込まれた、まさに「2冊目」の単語帳として理想的な内容になったと自負しています。

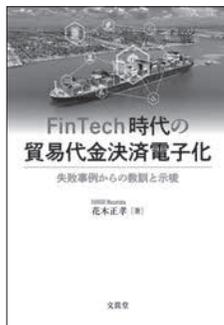
個々の見出し語にはかなり詳しい解説を付しています。情報量が多いと大変という声もあるかもしれませんが、少し日本語で考えてみましょう。「[博する]とは「得る」を意味する動詞である」程度の情報しか提示されない教材があったらどうでしょうか。まったく役に立たないと言って良いでしょう。「好評を博する」「人気を博する」といった、典型的な共起語もあわせて覚えることで初めて、それぞれの語の性格や手触りが掴めてくるわけです。

難関大受験対策を銘打ってはいますが、高校生のみならず、大学進学以降の英語学習にも大いに役立つことと確信しています。語彙の学習にはキリがないと途方に暮れていた過去の自分に贈りたい、本格派の一冊を送り出すことができました。

『FINTECH 時代の貿易代金決済電子化 －失敗事例からの教訓と示唆』

花木正孝 著（文真堂、2024年）

花木 正孝



本著は、博士学位論文（2022年）¹⁾の主要部分に加えて、その後発表した査読論文4本²⁾を追加することで最新情報を反映させたものである。

その目的は、まず2020年までSWIFTが推進した貿易代金電子化プロジェクト

(TSU-BPO取引)の失敗原因を研究することにより、貿易代金決済電子化を普及させる為に、必要な要件を示すことである。貿易代金決済電子化が実現した場合の、様々な効用を指摘しつつ、①TSU-BPO取引普及を阻んだ要因を指摘し、②この失敗がFinTechを

活用した次世代の貿易代金決済電子化プロジェクトに与える示唆、③SWIFT、ICCが実現したURBPO750等、TSU-BPO取引の遺産といえる国際規則の内容を、どのように継承していくべきか、の3点について検討し、9つの要件を提示するものである。

- 1) 「SWIFT (TSU-BPO 取引) の失敗が示唆するもの - FinTech 時代の貿易代金決済電子化への教訓と遺産」、近畿大学大学院商学研究科博士学位論文 (商第26号)、2022年9月
- 2) 「新時代の電子商取引国際規則 - URDTT 1.0 の特徴とその意義」、『日本貿易学会誌』(60)、3-15頁、2023年3月
「信用状取引における荷為替手形の Pdf ファイル化 - eUCP20・SWIFT 等活用による実現可能性の検討」、『国際商取引学会年報』(25)、31-46頁、2023年9月
「BC (DLT) 技術を利用した貿易プラットフォーム - TradeWaltz の挑戦」、『日本貿易学会誌』(61)、2024年3月
「NACCS システムと貿易電子化 - API 連携による貿易金融電子化推進」、『港湾経済研究』(62)、2024年3月

授業の内容と方法の改善に向けて

経営学部 FD 委員会委員長 高原 利栄子

FD は Faculty Development の略です。Faculty とは大学においては教員とその組織を指し、その能力を develop（開発）する活動は多岐にわたります。私たち経営学部 FD 委員会の使命は、授業の内容と方法の改善です。経営学部 FD 委員会の活動のうち、学生の皆さんにとって特に身近で、日々の学生生活に直結するものは、以下の4つです。

① 授業評価アンケート

授業評価アンケートは、ユニバーサルパスポート（通称「ユニパ」）を通じたオンライン回答で実施しています。1つの授業につき、中間段階と最終段階の合計2回実施しています。中間時点で後半の授業へのフィードバックを、最終段階では、次年度以降の授業改善に役立てています。オンライン回答ということもあり、年々回収率が低下しています。学生の皆さんにとっては、授業に対する日頃の思いを教員に伝えるチャンスでもあります。是非とも率直なご意見をお聞かせ下さいますよう、ご協力をお願いいたします。

② FD 研修会

経営学部 FD 委員会では、FD 研修会を企画し、定期的で開催しています。具体的には、教員が相互に自らの授業の工夫や教育方法に関する情報を共有したり、学外から講師の先生をお招きして、授業改善に役立つ講演をして頂いています。

③ シラバス（講義要項）の改善

シラバスとは、講義要項のことで、授業の回数ごとのテーマや授業進度のみならず、学習到達目標についても記載しています。いずれの大学のどの科目も詳細に書くことが求められており、ネット公開が原則になりました。特に履修登録の時期は、自分が履修しようとする科目のシラバスには必ず目を通して、履修科目を選択するさいの参考にしてください。私たち経営学部 FD 委員会も、シラバスの内容や記載方法の改善に努めています。

④ 授業環境の改善

経営学部の学生の皆さんが毎日を過ごす21号館は築60年近くが経ち、様々な改装を順次進めてはいるものの、時代の変化に追いついていないところもあります。上記①から③の授業内容の改善のみならず、教室を含む授業環境の整備についても経営学部 FD 委員会は提言をおこなっています。

最後に、学生の皆さんが快適に受講できる環境を整え、知的好奇心を刺激できるような授業ができる教員を互いに支援することがFD活動の目標の一つであり、学生の皆さんに、私たち教職員が還元できる成果であると考えています。

学生ならびにその保護者の皆様には、このような活動も大学教職員の業務の一つであることを知っていただき、折に触れてご協力いただければ幸いです。



建学の精神

「実学教育」と「人格の陶冶」

教育の目的

人に愛される人
信頼される人
尊敬される人
を育成することにある。

近畿大学教育方針

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育理念として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育理念」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。本学が、総合大学として各学部の特徴を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけではなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実に立脚しつつも、歴史的展望をもち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を発揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志をもつことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これからの時代に、本学が目指す社会的使命であります。



経営学部便り 第21号 2025年3月25日発行

編集 近畿大学 経営学部 広報・編集委員会（広報部会）

発行人 安酸 建二

発行所 〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

近畿大学 経営学部

(06) 4307-3045

印刷所 近畿大学 管理部 用度課（出版印刷）